大雪山国立公園連絡協議会

表大雪地域登山道維持管理部会（第２回）

日時：令和３年６月 14 日(木) 13：00～16:00
場所：東川町役場大会議室

次　第

１．開会

２．議事
（１）登山道荒廃の課題解決に向けて（60 分）

（２）表大雪地域誘導標識の現状と老朽化等への対応について（40 分）

＜休憩＞

３．報告事項
（１）令和３年度大雪山国立公園連絡協議会総会及び登山道維持管理部会の取組事項について（10 分）

（２)新型コロナウイルスへの対応を含む各団体の活動予定について(50 分）

４．その他

５．閉会

【配布資料】

資料１－１　登山道荒廃の課題解決に向けた協議について

資料１－２　表大雪地域誘導標識の現状と老朽化等への対応について

資料２－１　大雪山国立公園連絡協議会及び部会の取組について
- ２－１－１　大雪山国立公園の管理有効性評価の調査について
- ２－１－２　令和３年度登山道維持管理作業実施手順マニュアル案
- ２－１－３　登山道維持管理データベース
- ２－１－４　様式第１_パートナー登録申請書
- ２－１－５　携帯トイレ仕入れ案内文（令和 3 年度版）
- ２－１－６　大雪山国立公園のトイレの現状_2106 版
- ２－１－７　携帯トイレ普及目標設定、効果検証手法の検討

資料２－２　各構成員等からの資料
- ２－２－１　環境省大雪山国立公園管理事務所・東川・上士幌管理官事務所
- ２－２－２　上川中部森林管理署
- ２－２－３　上川総合振興局環境生活課
- ２－２－４　NPO アース・ウィンド
- ２－２－５　NPO 法人かむい
- ２－２－６　大雪山国立公園パークボランティア連絡会
- ２－２－７　山のトイレを考える会
- ２－２－８　北海道大学大学院地球環境科学研究院　渡邉悌二教授
- ２－２－９　北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也准教授
- ２－２-10　株式会社りんゆう観光
- ２－２-11　公益社団法人日本山岳会北海道支部
- ２－２-12　美瑛山岳会

令和３年６月 17 日

大雪山国立公園連絡協議会　表大雪地域登山道維持管理部会（第２回）
出席者名簿

【構成員】

分野	名称	出席者（敬称略）	備考
関係行政機関	上川中部森林管理署	総括森林整備官　橋本　雅俊 主任森林整備官　岩館　正宣 首席森林官（大函）　浅野　達也	
	上川南部森林管理署	事務管理官（管理担当）米田　和敏 上富良野森林官　中嶋　博司	ウェブ出席
	上川総合振興局	環境生活課　主査　福井　拓郎 環境生活課　主事　中里　海斗	
	富良野市	経済部商工観光課観光係 三好　舞咲	ウェブ出席
	上川町	産業経済課 商工観光グループ係長　鈴木　創太 主事　菅家　裕太	ウェブ出席
	東川町（旭岳ビジターセンター）	宋　東憲	ウェブ出席
	美瑛町	商工観光交流課 観光振興係長　平田 敦史	ウェブ出席
	上富良野町	企画商工観光課　商工観光班 主査　岩田　守高 主事　寺田　泰輝	ウェブ出席
	南富良野町		ご欠席
維持管理関係団体 利用・環境教育関係団体	NPO アース・ウィンド	横須賀　邦子	ウェブ出席
	NPO かむい	代表理事　濱田　耕二 PR プランナー　森　さなえ	
	NPO 法人大雪山自然学校	旭岳自然保護監視員　藤　このみ 坂井　美保 川村　兼仁	
	勤労者山岳連盟（道央地区）	自然保護委員長　伊吹　省道	ウェブ出席
	合同会社北海道山岳整備／一般社団法人大雪山・山守隊	代表　岡崎　哲三 下條　典子	
	山樂舎 BEAR	代表　佐久間　弘 副代表　土栄　拓真	ウェブ出席
	層雲峡ビジターセンター	片山　徹	
	大雪山倶楽部	森田　秀明	ウェブ出席
	大雪山国立公園パークボランティア連絡会	会長　黒田　忠	
	TREE LIFE		ご欠席

	富良野山岳会		ご欠席
	北海道山岳ガイド協会（表大雪地区）		ご欠席
自然保護関係団体	大雪と石狩の自然を守る会	登山道担当　沓澤　克嘉 事務局長　竹田　洋子	
	山のトイレを考える会	代表　小枝　正人 事務局長　仲俣　善雄	ウェブ出席
調査・研究関係	北海道大学大学院地球環境科学研究院	教授　渡辺　悌二	ウェブ出席
	北海道大学大学院農学研究院	准教授　愛甲　哲也 農学院修士２年　閻　安 農学院修士１年　陳　絵 農学院修士１年　中村　大	ウェブ出席

【オブザーバー】

分野	名称	出席者（敬称略）	備考
維持管理関係団体 利用・環境教育関係団体	旭川勤労者山岳会		ご欠席
	ガイドオフィス風		ご欠席
	株式会社りんゆう観光	層雲峡事業所長　山崎　弘二	ウェブ出席
	上川山岳会		ご欠席
	上富良野十勝岳山岳会		ご欠席
	黒松内銀竜草の会		ご欠席
	公益社団法人日本山岳会北海道支部	支部長　藤木　俊三	
	美瑛山岳会	理事長　内藤　美佐雄	
	ワカサリゾート株式会社		ご欠席
自然保護関係団体	北海道高山植物保護ネット		ご欠席
調査・研究関係	山岳レクリエーション管理研究会	事務局長　山口　和男	ウェブ出席

【事務局】

所属	出席者	備考
環境省　大雪山国立公園管理事務所	所長　広野　行男 国立公園保護管理企画官　畠山　直樹 国立公園利用企画官　佐藤　巧 係員　松野　壮太 自然保護官補佐　忠鉢　伸一 自然保護官補佐　入江　瑞生	
東川管理官事務所	国立公園管理官　齋藤　明光 自然保護官補佐　渡邉 あゆみ	
上士幌管理官事務所	国立公園管理官　齋藤　佑介 自然保護官補佐　上村　哲也	

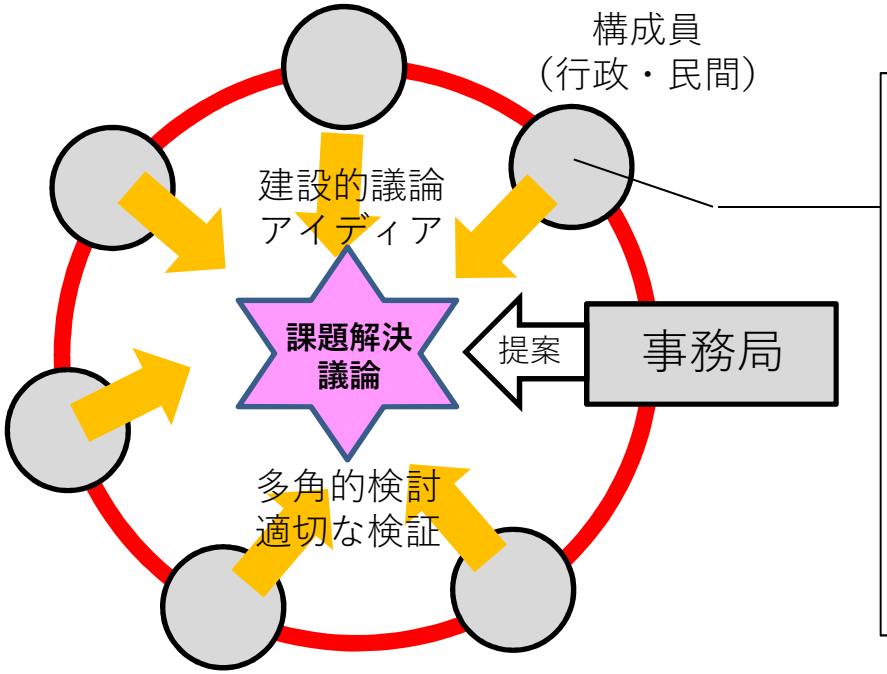
登山道荒廃の課題解決に向けた協議

＜経過等＞

■2020年６月　「大雪山国立公園連絡協議会」（総合型協議会）設立

■2020年12月　「表大雪地域登山道維持管理部会」、「東大雪地域登山道維持管理部会」発足
第１回部会を開催
・・・登山道荒廃の課題解決に関する協議の場としてスタート
・・・歩道事業の未執行区間解消に向けた共通認識

■2021年６月　第２回部会【本日】
・・・構成員が登山道等の課題を情報共有し、解決の必要性について共通認識
・・・具体的な意見やアイディアを出し合い、解決方法を協議



○課題解決が目的
・構成員が地域内すべての登山道について、課題を認識し、解決方法を考える。
・事務局による課題解決に向けた取組については、その内容の検討、検証。

○構成員の役割
・大雪山国立公園全体の課題を理解
・責任感をもって、主体的に議論に参画
・登山道の荒廃という困難な課題に対して、解決に向けた具体的なアイディアを出し、建設的に議論。

登山道荒廃の課題解決に向けた協議

＜協議の進め方＞

- 各地域（表大雪・東大雪）における登山道荒廃の課題事例を挙げ、「現状」について情報共有し、「望まれる状況」や「課題解決に向けた検討事項」について協議。

- 課題事例は、「大雪山国立公園登山道管理水準2015年改訂版」の保全対策ランクが高く、また、公園事業の執行状況が未執行の区間を選定。

- 別紙「登山道荒廃の課題事例」として、今回は、「美瑛富士線歩道」を紹介。

- 次のような点について確認・協議。

  （例）

  - 本登山道の位置づけ、重要性や登山者ニーズに対する課題状況
  - 複数ある課題に対する解決の優先度、緊急度
  - 過去の経緯を踏まえた関係機関、団体の連携可能性
  - 一般登山者との協働の可能性（協力金、ボランティア活動等）
  - 将来的に望まれる管理体制

- **協議を行い、様々な視点から解決方法に関する複数案を抽出。【目標】**

- 構成員のそれぞれの立場から、抽出された解決方法について、実現可能性を検討し、第３回部会において協議を継続することで、より具体的な解決方法を見い出す。

別紙 「登山道荒廃の課題事例」(1/2)

歩道名：美瑛富士線道路（歩道）事業　（距離　約6km）

登山道管理水準：　登山道グレード３　・　登山道の保全対策ランク　**A・C**

現　状	望まれる状況（案）
①利用状況（歩道の位置づけ、重要性、利用実態　など） • 美瑛富士やオプタテシケ山への登山道。 • ナキウサギや高山植物等の野生動植物の生息地として貴重な地域。 • 登山道の利用者は、1000人程度（美瑛富士登山口の登山者数調査より）。 • 登山口から美瑛富士山頂まで約1000ｍの標高差があり、登山道から、森林帯、亜高山帯、ハイマツ帯、高山帯までの植生の垂直分布を見ることができる。	• 原生的な山岳景観、豊かな自然環境、生物多様性を維持しながら、国立公園にふさわしい質の高い登山体験が可能となっている。 • 登山道が地域の重要な観光資源の基盤の一つとして、位置づけられ、山麓地域における滞在利用、地域活性化にも結びついている。
②課題（自然環境・景観上の問題・歩道の荒廃状況、安全対策など） • 標高約1300ｍまでの森林帯においては、登山道の泥濘化、水たまり、流水による侵食が進んでいる。 • 標高約1,300m以上の登山道区間においては、流水によるガリーや下方侵食が進行している。 • 避難小屋周辺の高山帯で登山道の拡幅や複線化が進むことで、高山植物の消失につながっている。	・登山道の全区間における対策の優先順位、優先箇所の整理が行われ、関係者間で課題に対する共通認識が確保されている。 ・保全対策ランク（A・C)に応じた、適切な植生保護、登山道補修、維持管理が計画的に進められている。
③管理状況（整備・維持管理の状況、担い手、補修計画　など） • 登山道施設としての構造物や工作物はほとんど設置されていない。 • 部分的に、侵食や段差への対策として、段差処理工や導流工、泥濘箇所には簡易木が設置されている。それらの設置は美瑛山岳会や環境省の協働型登山道整備事業にて実施。 • 令和元年度に上川中部森林管理署が、美瑛富士登山口から美瑛富士避難小屋までの約５km区間について、ササ刈りを実施。 • 平成26年度から平成30年度まで、美瑛山岳会と上川中部森林管理署がボランティア協定を締結し簡易な登山道補修を実施。	・他地域で設置されている登山道管理を目的とする協議会等の組織が設置されている。 ・事業執行者として管理主体が明確になり、その上で関係機関、団体等による管理作業の役割分担が行われている。 ・毎年の継続した登山道補修作業を通じて、担い手の育成が確保されている。

別紙 「登山道荒廃の課題事例」(2/2)

歩道名：美瑛富士線道路（歩道）事業　（距離　約6km）

登山道管理水準：　登山道グレード３　・　登山道の保全対策ランク　**A・C**

現　状	望まれる状況（案）
④予算等（関係する協力金、募金、支援事業、ボランティア活動等） ・上川中部森林管理署によるササ刈り（※約数年に1回のササ刈り） ・美瑛町から美瑛山岳会への委託による、避難小屋及びその周辺登山道の維持管理。 ・平成26年度において、環境省の協働型管理運営事業の一環として、美瑛山岳会、ボランティアとともに登山道整備を実施。	・既存の維持管理費のみならず、他地域で導入している登山者等からの協力金等による資金を確保、活用し、継続的な登山道補修及び維持管理を実施する。
⑤その他（トイレ、携帯トイレ、野営指定地等の課題） ・美瑛町が美瑛富士避難小屋を整備。管理は、美瑛山岳会へ委託実施。 ・美瑛富士野営指定地については、管理者不在。 ・環境省が美瑛富士避難小屋横へ常設のトイレブースを設置。管理協定に基づき、美瑛町及び美瑛富士トイレ管理連絡会、環境省の３者で実施。 ・町道から登山口への入口には、上川中部森林管理署設置のゲートがある。	・野外し尿ゼロとなり、トイレ道となっている裸地部分の植生を回復させる。 ・避難小屋や携帯トイレブースを清潔に保ち、利用者の満足度を高めるためのきめ細かな維持管理を実施する。

☆検討事項（案）

・・・特に、標高約1300ｍ以上の区間において対策が必要な荒廃が進行している一方、登山道補修の実施体制が構築されていないことや、利用者数が年間1000人程度の中規模レベル（大雪山国立公園入山者数の推計結果）であること等の理由から、対策の優先順位が上がっていない現状に対し、どのように課題解決の糸口を見い出せるか。

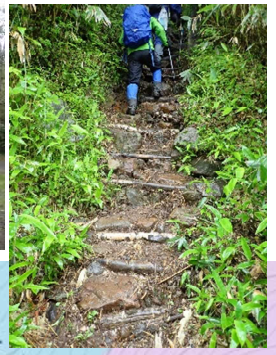
・・・必要とされる補修箇所が登山口から遠く、現場の資材も乏しい条件にある中、補修作業に多くのに費用や労力がかかることについて、新たにどのような協力体制や協働の仕組みを検討できるか。

・・・登山の利用形態が日帰り利用が主となっていることもあり、地域における観光資源化や消費額の向上につながりにくい状況に対して、どのような改善策を検討できるか。

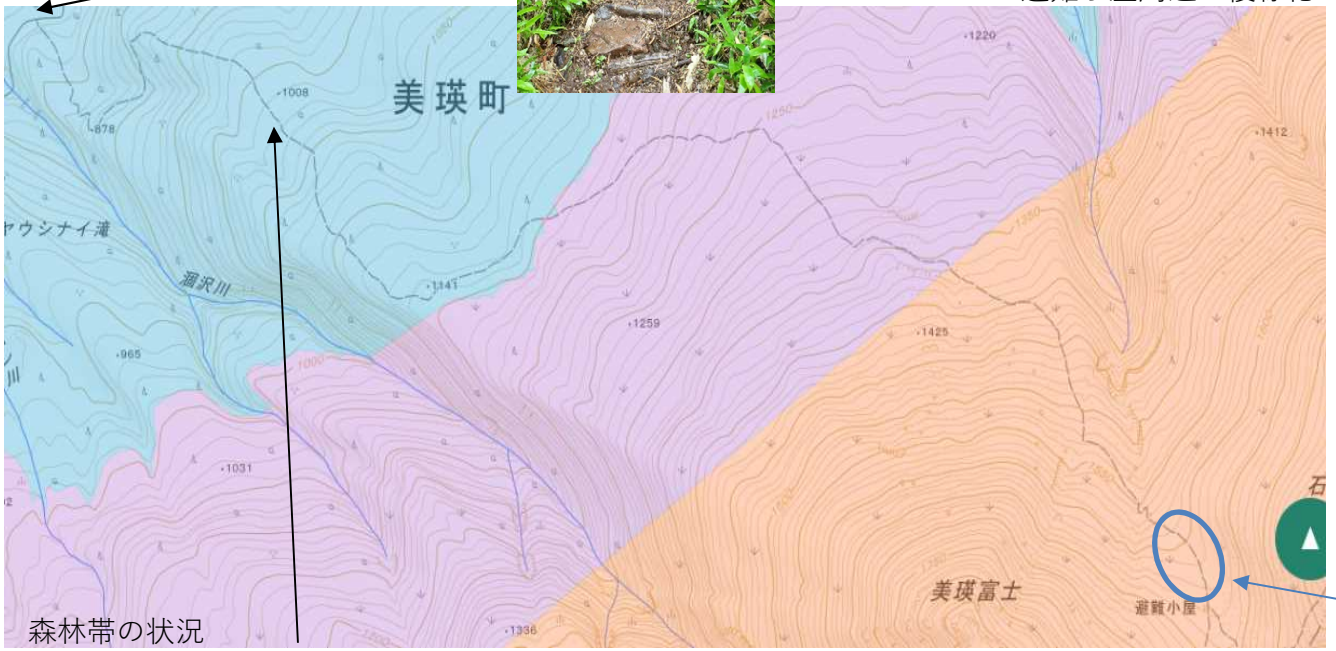
美瑛富士線道路（歩道）事業

段差処理工

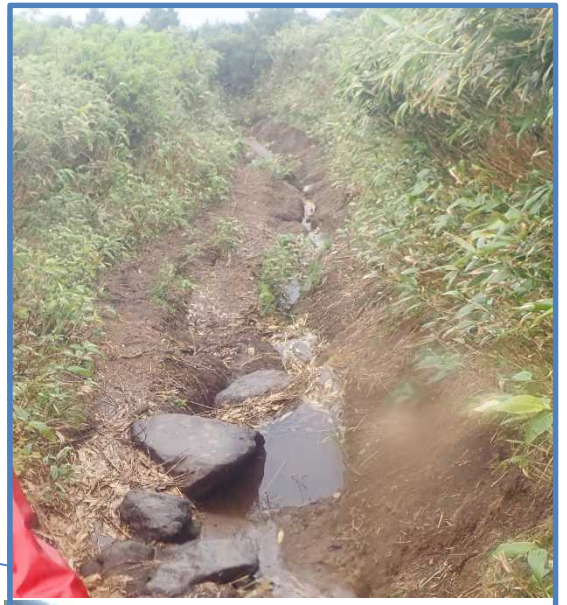
登山口



避難小屋周辺の複線化



森林帯の状況



登山道の侵食、洗掘

出典　自然環境調査
Web-GISより

避難小屋・携帯トイレブース

誘導標識の補修計画について　　合同会社 北海道山岳整備

今年度、大雪山国立公園において北海道が管理する標識10か所程度を対象に、委託事業として試行的に標識補修を行なうこととなりました。この機に、皆さまの標識に対する認識や将来像を共有したく、ご意見を伺いたいと思います。大雪山にとって良い標識となるよう、ご意見は反映させていただきたいと思います。

＜現状と目的＞

・現状において、大雪山の誘導標識の多くは文字が消えかけ、安全管理として、国立公園のイメージダウンとしても大きな問題がある。ボランティアや行政職員の手弁当で補修されているが、多くはラミネートを張るだけの応急処置が続き、管理がされているとは言い難い。

・本来標識は安全管理として重要であり、山岳管理がしっかり働いている指標としても見られている。また大雪山の景色の一部であり、統一したデザインが望ましいが、すべての標識をしっかりと変更するには大きな予算が必要であり、この課題が理解され、交換のための予算が付くまでにはまだまだ長い時間がかかることが予想される。

・よって低予算でもできる「補修」として、現状の使える標柱は利用し、文字盤のみを刷新する予定。

・また、交換となるとデザインや施工が別々に発注され金額が多くなるところを、デザイン、施工ともに行ない、少ない予算でも補修できる形をとる。

・デザインは山岳関係者や登山者の意見を聞きつつ作り上げること。状況によって刷新できる状況を作ることで、登山者や民間が山岳管理にかかわることができる形を作る。

補修完了までの流れ

○山岳関係者及び登山者への意見募集　　期間:6月初旬～14日頃まで

＜標識補修計画を伝え、利用者にとって見やすい標識となるための情報を得る＞

・現状修正のためのアイデア
・本来はこうあるべきという意見
・将来的にはこうなるべきという意見　など下記参照

○アンケートを基にした修正案開示　　時期:6月17日、22日（情報交換会）

＜意見をもとに修正した補修案を開示し、意見交換する＞

・具体的にできることを踏まえた、細部の修正
・協力体制の構築

○印刷発注　　時期:6月下旬～7月上旬

・アルミ複合板プリント発注

○補修標識のサイズ確認　　時期:6月下旬～7月

・現場へ行き正確なサイズを測定

○アクリル板加工　　時期:7月

・表示板を覆える形のアクリル板に加工する

○標識取り付け　　時期:7月～9月完了

・現場の表示板に合わせた取り付け加工を行なう
・標柱に傾きがある場合は修正する。

現状の課題と高原温泉での補修事例（補修に先駆け、一部の標識を変更してみました）

既存の標柱や文字盤自体はしっかりと残っている場合が多いが、以下の問題がある。
問題解決のため試行的に補修施工を行なった。

＜問題点＞
・文字のかすれ
・英語表記がない
・位置表示がない（この場所の呼び名がわからない「～分岐」など）

＜表示が必要と思われる表記内容＞
・英語表記
・地図
・標高
・標柱場所の名称
・大雪山グレード

※QRコードも考えられるが、現状のコース内では携帯電波がない場所もあり、今後の対応とする。また、QRコードによって「何を知りたいのか」を検討する必要がある。

＜高原温泉での補修例＞
・地図表記（センターで配る地図と同じくしている）
・標柱場所の名称を表記している
この場所は「三笠新道分岐」
・標高を表記している
・英語表記をしている
・アクリル板で覆い、風雨、風砂、風雪などから文字盤を保護している
・標柱の色に合わせた背景
・表示個所の修正を行なっている

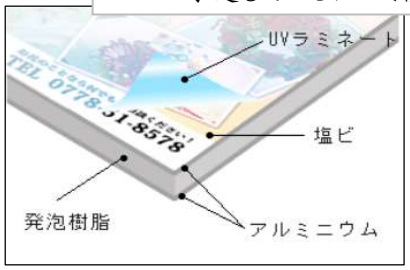
・取り付けた印象としては今までの雰囲気を崩すことは少ない。

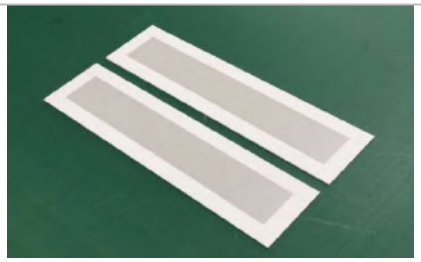
・高原温泉では写真印刷に耐水性を持たせるため、ラミネート･コーキング･アクリル板という方法を使ったが、今回計画しているアルミ複合版印刷では、元から耐水性があるので、風砂等からの保護のための、アクリル板取り付けのみで良いと思われる。

・アルミ複合版印刷は紫外線による劣化にも耐えうる印刷方法となっている。

※2020年9月、高原温泉のヤンベ分岐と三笠新道分岐の2か所において試行的に補修を行なった。

予定しているアルミ複合版印刷。さらにアクリル板で覆い、風砂から保護する。





皆様のご意見をお願いします。特に①についてはすぐに反映できるように努力します。

①高原温泉補修事例及び裾合平分岐標識(案)においての修正すべき点

＜例＞
・数字をもっと大きく
・地図は必要ない
・現在位置の表記には言葉はいらず、記号で表現
・カタカナやひらがなもあると外国人には異国の情緒を感じる
・防水対応が不十分では？

など、事例からできる改善点を指摘してください(上記は現時点での聞き取り意見です)。

②本来はこうあるべきという意見

＜例＞
・大雪山としてのデザインを考えるべき
・低予算で作り上げるものではない
・デザイナーに依頼すべきでは？

など、こうあるべきという意見をお願いします(上記は現時点での聞き取り意見です)。

③将来的にはこうなるべきという意見

＜例＞
・環境省などが一括で管理し、共通のデザインにしていくべき
・分岐や山頂表記はデザインや内容を統一すべきだが、各所にある地名などはその風土のデザインにする方が面白い
・デザインは統一するが、施工は民間からの資金も使えるようにすべき

など、今後の将来としてはこうあるべきという意見をお願いします。
(上記は現時点での聞き取り意見です)。

誘導標識表示内容案（裾合平分岐の場合）・・地図は北海道ワイルドさんから引用しています。実際の地図サイズは20cm×20cm程度。

誘導標識表示内容（高原温泉で設置済み）・・地図は高原温泉でレクチャー時に配布するものと同様の形を使用。

＜参考事例＞大雪山高原温泉

大雪山愛山渓での標柱
現在地の表示名「沼ノ平分岐」あり
ヒグマによる噛み跡多数

熊本阿蘇山での地図表記の標識

警察や消防への連絡先も表記されている

小笠原諸島母島での登山口にある標識

・日本国内でも地図表記ありの標識は増えている。
・ネット化が進み、地図を持たない登山者も増えている。安全管理として、地図を携帯させる啓蒙だけでなく、通信環境の改善も必要だと考える（今後は地図を持たず、スマホで管理するユーザーが多くなるはずなので）。
・アプリに適した発信や環境改善も必要になると思われる（岡崎意見）。

＜参考事例＞海外の事例(NPO アース･ウィンド横須賀邦子さん提供)

ブルガリア
ヴィトシャ山　ピリン山脈

･文字や形などのデザインによって、海外の風土を感じることができる。
･画一的、合理的過ぎても面白味が少なくなるように感じる(岡崎印象)。

フィンランド

＜補修の候補標識(一部のみ)＞

21.小泉分岐

24.ヤンベ温泉分岐

27.忠別小屋分岐

20.白雲岳分岐

23.白雲岳避難小屋

26.高根ヶ原分岐

19.赤岳山頂

22.板垣新道分岐

25.三笠新道分岐

上記箇所のうち、北海道との協議のうえ、今年度に10～20か所以内の交換補修を行なう。

令和３年度　大雪山国立公園連絡協議会・登山道維持管理部会の取組

資料２－１

令和３年６月
環境省　大雪山国立公園管理事務所

大雪山国立公園連絡協議会

○令和３年５月　大雪山国立公園連絡協議会　総会

・令和２年度事業・会計報告及び令和３年度事業・予算の承認
・表／東大雪地域登山道維持管理部会の構成員４団体が総会へ出席
　表大雪地域･･･ NPO法人大雪山自然学校、山樂舎Bear
　東大雪地域･･･新得山岳会、大雪山国立公園パークボランティア連絡会
・大雪山国立公園の管理有効性評価の調査について（資料2-2-1）

○大雪山国立公園管理運営計画作業部会

・令和２年12月第１回部会、令和３年２月第２回部会開催。管理運営計画素案・案の検討
・令和３年秋頃　第３回部会。調整済みの大雪山国立公園管理運営計画案の確認

○大雪山国立公園協力金等検討作業部会

・令和２年11月第１回部会、令和３年２月第２回部会開催。取組方針案の検討
・令和３年夏～秋頃　第３回部会。取組方針案の決定
・取組方針に基づく、モデル地域における実践

協議会、各部会に関する全ての資料・議事概要は、大雪山国立公園連絡協議会ホームページに掲載
http://www.daisetsuzan.or.jp/management/

令和３年度　大雪山国立公園連絡協議会・登山道維持管理部会の取組

令和３年６月
環境省　大雪山国立公園管理事務所

表／東大雪地域登山道維持管理部会

【目的】

○登山道等の維持管理活動に関する総合調整、合意形成
（大雪山国立公園連絡協議会のうち、登山道の課題解決に関する部分の取組を実施）

【構成員】

・関係行政機関（環境省、森林管理署、北海道、市町）
・維持管理関係団体、利用（山岳会、ガイド事業者）・環境教育関係団体
・自然保護関係団体
・調査・研究関係
※オブザーバー（傍聴、情報共有）も部会に出席

構成員は大雪山国立公園連絡協議会に出席し、事業を報告

■事務局
環境省　（業務の一部民間団体請負も想定）

【予算】

○当面の間、大雪山国立公園連絡協議会の会計から必要な事項を支出

【取組】

○構成員間の情報交換
○登山情報の一元的な発信
○歩道等維持管理実施手順マニュアルに基づく関係者間の調整、作業結果の検討
○人材育成（ｾﾐﾅｰ、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ受入）、技術の蓄積と伝承
○登山道等維持管理の適正化に向けた議論（歩道事業未執行区間の解消）
○施設の老朽化対策　等

○令和３年６月　表／東大雪地域登山道維持管理部会（第２回）を開催

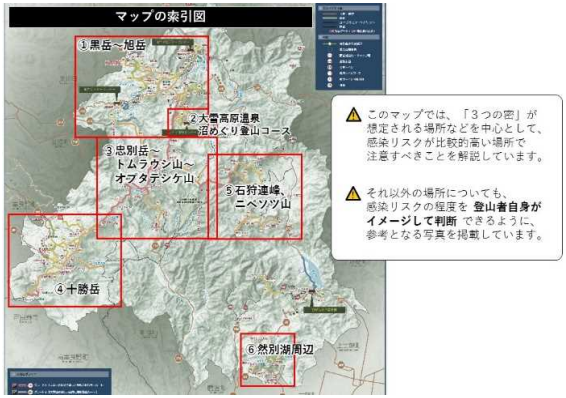
1.登山道の一元的な情報発信

（1）新型コロナウイルス感染症注意マップの継続

○登山をする場合は、登山中に「他人に感染させる」「自分が感染する」ことのリスクを登山者ひとりひとりが認識して、自己の責任において対策・対応することが必要。

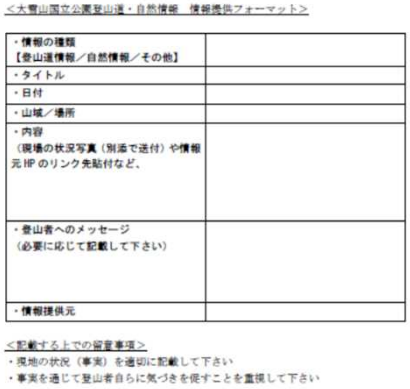
⇒登山者が自らが「３密」を回避して行動するため注意すべきことをまとめたマップ を作成

令和３年６月14日版　http://www.daisetsuzan.or.jp/wp-content/uploads/2020/07/covid-19map_210614.pdf



（2）登山道の一元的情報発信に関する情報提供について

○４月に大連協ホームページおよび登山情報をリニューアル
○昨年に引き続き、情報提供を構成団体に要請
○提供された情報は担当者がホームページにアップロード
○情報の重要/緊急度により、大連協フェイスブック経由で拡散

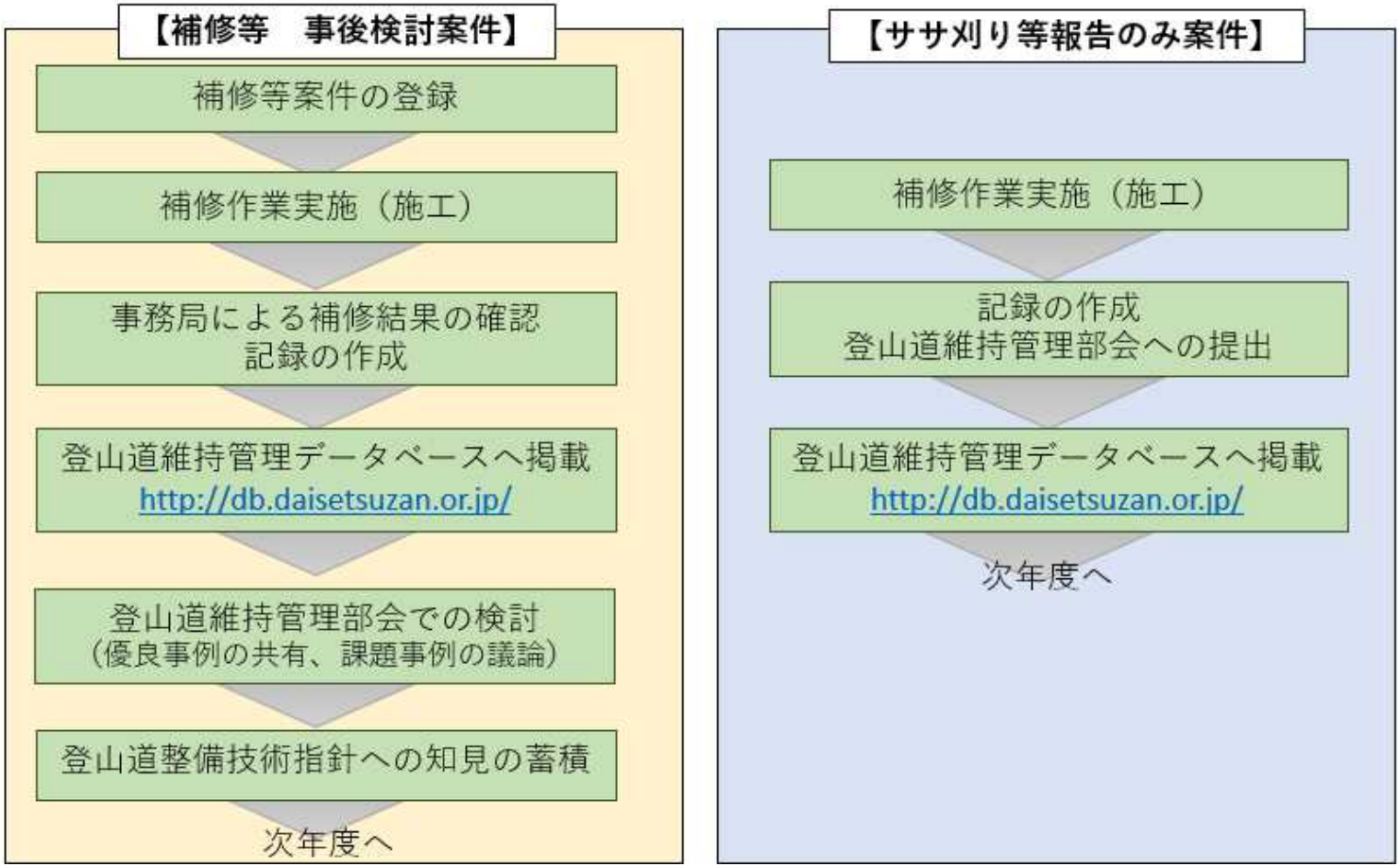

＜大雪山国立公園登山道・自然情報　情報提供フォーマット＞

・情報の種類 【登山道情報／自然情報／その他】	
・タイトル	
・日付	
・山域／場所	
・内容 （現場の状況写真（別添で送付）や情報元HPのリンク先貼付など、	
・登山者へのメッセージ （必要に応じて記載して下さい）	
・情報提供元	

＜記載する上での留意事項＞
・現地の状況（事実）を適切に記載して下さい
・事実を通じて登山者自らに気づきを促すことを意識して下さい

2.登山道維持管理維持管理作業実施手順マニュアル

概要・・・大雪山国立公園における登山道の適切な管理のため、補修案件について情報の共有（情報公開）、技術の検討、事例の蓄積を行い、補修・施工品質の確保・向上を図るもの。



令和3年度版手順マニュアルについては、資料2-1-2を参照

3.登山道維持管理データベース

令和２年度から記録掲載を行っている登山道維持管理データベース http://db.daisetsuzan.or.jp/ について、今年度も施工者からの情報を基に補修記録を作成し、掲載を行う。
掲載については補修箇所、補修記録・写真のほか動画による公開を行う。

データベースのメリット
〇記録の蓄積が可能（経年の比較が可能となり、PDCAサイクルの状況も把握可能）
〇登山道の補修結果を登山道関係者で共有して検証が可能
〇維持管理作業の技術的な品質の確保と向上を図ることかできる
〇周辺の植生変化の蓄積が可能

情報提供により
登山道補修記録の作成（資料2-1-3）

事務局で記録報告をまとめ作成を行うが、請負業務の場合は実施者が作成（写真・動画の提供を受けることとするが、事務局が直接現場確認を行った際には写真・動画を撮影）

補修記録をまとめ、データベースに掲載

大雪山国立公園の登山道の荒廃問題を解決を目指す

4.大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言に関する取組

（1）携帯トイレ普及キャンペーン

携帯トイレを普及させるためには、抵抗感をなく利用してもらうことが必要と考えられる。
そのため、中岳温泉、銀泉台～赤岳において、携帯トイレブースを設置して実際に利用してもらうこと、携帯トイレブースがない場所での安心な利用方法を検討して発信することなどにより、携帯トイレ普及に加え、し尿排出を抑える直接的な効果があるキャンペーンを実施する。また、携帯トイレ回収ボックスの追加設置を各地域で促すほか、トムラウシ短縮登山口では携帯トイレ配布ボックスを設置し、あわせて協力金の回収を試行する。

・中岳温泉（予定：令和３年７月１７日～３０日、９月８日～１０月１日）
・銀泉台～赤岳（予定：令和３年９月中旬～下旬　※マイカー規制時期）

携帯トイレ配布ボックス（イメージ）

（2）携帯トイレ民間流通体制の支援、携帯トイレ普及パートナーの拡大

大雪山携帯トイレ普及宣言を促進するための大雪山国立公園オリジナル携帯トイレの民間事業者による一括受注支援、パートナーシップ事業の拡大を引き続き行う。

別紙2-1-4パートナー登録用紙　別添2-1-5りんゆうのご案内　別添2-1-6大雪山国立公園におけるトイレの現状を参照

（3）携帯トイレ普及目標に応じた効果検証の試行

普及宣言に基づく取組を一層推進するため、普及宣言の内容に応じた、目標（可能であれば数値で定めることができるものする）の達成状況について、携帯トイレ回収数のカウントや登山口でのアンケートなどできるだけ検証可能な情報を収集し、普及宣言の効果を検証する取組を試行する。

別添2-1-7_大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言目標設定、効果検証　参照

令和 3 年 6 月 17 日

表大雪／東大雪地域登山道維持管理部会
構成員・オブザーバー 各位

大雪山国立公園連絡協議会
北海道大学大学院農学研究院

大雪山国立公園の保護と管理に関する意識調査のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃より、当方の研究・教育へご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

大雪山国立公園連絡協議会では、将来の大雪山の目指す姿を定めた大雪山ビジョンにおいて、協働による管理運営すすめるための取り組みとして、国際的な保護地域の評価手法である「管理有効性評価」の実施をあげております。管理有効性評価は国際自然保護連合が提唱し、世界銀行などが手法を開発したもので、生物多様性条約の成果を検証する指標の一つともなっています。我が国では、環境省国立公園課により、2018 年より評価シートが作成され、国内数カ所の国立公園で評価が試行されています。

現段階の評価は、管理者自身と専門家が中心です。他国では地域の利害関係者とのワークショップや意見聴取を取り入れている例も少なくありません。今回の調査は、管理有効性評価を改善し、進展させるため、大雪山ビジョンへの取り組みを評価するため、地域の関係者の皆様を対象に、将来と現状の課題、管理運営の問題点、協働型の取組へのご意見などについて伺うものです。評価結果は、大雪山国立公園連絡協議会や各部会で報告させていただき管理運営計画の策定に活用します。また、学術雑誌等に投稿し、国際的な管理有効性評価の手法の改善にも寄与するものと考えています。

お忙しいところとは思いますが、皆様のご回答をお寄せくださいますようお願いします。いただいたご回答は、分野ごとに取りまとめて分析し、個々の所属とお答えをそのまま公開し、分析することはありません。また所属される機関や企業、団体を代表する意見として扱うこともございません。そのため、各団体で複数のご回答をいただいても構いません。
ご回答は、あくまでも任意です。インターネットの回答サイトへの入力、郵送による調査用紙へのご回答を選択いただけます。下記の要領で、ご案内いたします。郵送を希望される場合は、協議会事務局までご連絡ください。

記

【調査期間】2021 年７月末日まで

【Web アンケートをご希望の場合】
下の URL にアクセスの上、アンケートへの回答をお願い申し上げます。PC、タブレット、スマホがご使用いただけます。２次元バーコード画像も添付します。
https://arcg.is/enGGv

【調査用紙への記入をご希望の場合】
ご所属団体、ご担当者氏名及びご希望部数を協議会事務局までお知らせください。
後日、調査用紙と料金受け取り人払いの返信用封筒を送付いたします。北海道大学に住所をお知らせし直接送付しても良い場合はその旨をお知らせください。

以上

アンケート内容、回答サイトにお問い合わせは、下記にお願いいたします。

北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也
電話・FAX 011-706-2452
メール tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

その他、調査用紙の郵送をご希望の方は、下記にお願いいたします。

【大雪山国立公園連絡協議会事務局】

大雪山国立公園管理事務所　畠山 直樹
電話　01658-2-2574　　FAX 01658-2-2681
メール NAOKI_HATAKEYAMA@env.go.jp

東川管理官事務所 齋藤 明光
電話 0166-82-2527 FAX 0166-82-5086
メール AKANE_SAITO@env.go.jp

上士幌管理官事務所 齋藤 佑介
電話 01564-2-3337 FAX 01564-2-2933
メール YUSUKE_SAITO@env.go.jp

大雪山国立公園の保護と管理についてご意見をお聞かせ下さい

大雪山国立公園の現状や、ビジョンを実現する取り組みなどについて、将来と現状の課題，管理運営の問題点，協働型の取組へのご意見などについて伺うものです。

いただいたご回答は、分野ごとに取りまとめて分析し，個々の所属とお答えをそのまま公開し，分析することはありません。また所属される機関や企業，団体を代表する意見として扱うこともございません。

大雪山国立公園連絡協議会・北海道大学大学院農学研究院
調査実施・問い合わせ先：北大農学研究院　愛甲哲也 閻安
〒060-8589 札幌市北区北９条西９丁目　電話：011-706-2452
メールアドレス：tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

問１　あなたは、大雪山国立公園における現状の風致景観、地形・地質・自然現象、植生及び野生生物、文化資源の保全の取り組みは、適切に行われていると思われますか。それぞれ当てはまる番号１つに○をつけてください。

	適切ではない	あまり適切ではない	どちらともいえない	ほぼ適切である	適切である	わからない
風致景観の保全 **雄大で原生的な自然景観**	1	2	3	4	5	6
地形・地質・自然現象の保全 **火山活動起因する地形や寒冷地の地形・地質現象**	1	2	3	4	5	6
植生及び野生生物の保全 **標高の変化に応じる植生の変化、多様な野生動物、特に絶滅危惧種、固有種など**	1	2	3	4	5	6
文化資源の保全 **アイヌ文化、産業遺産、大雪山に関する文学や芸術作品など**	1	2	3	4	5	6

問２　あなたは、大雪山国立公園を保全しつつ適正な利用を図る上で、現状で問題となっていると感じる点はありますか。以下の項目について、当てはまる番号全てに○をつけてください。

1　人の踏み付けによる登山道や散策路の荒廃
2　登山道や散策路の整備
3　登山者の増加に伴う登山道の混雑
4　駐車場の混雑や観光道路の渋滞
5　観光客による観光拠点（温泉や展望台、ビジターセンター等）の混雑、渋滞
6　野営地の利用に伴う裸地化
7　トイレのない野営場、登山道のし尿問題
8　ゴミの放置、散乱
9　植物の違法採取
10　外来生物の侵入
11　エゾシカによる植生被害
12　ヒグマによる人への危害
13　公園内の規制やルールの管理不足
14　標識・地図の不備・破損
15　施設（トイレ、山小屋等）の不足または老朽化
16　建築物の廃屋の増加
17　開発行為（観光道路、ダムの建設、鉱業採掘等）
18　新型コロナ感染症の拡大
19　地球温暖化による気候変動
20　その他（　　）

問３　あなたは、大雪山国立公園を保全しつつ適正な利用を図る上で、将来的に問題になると懸念される点はありますか。以下の項目について、当てはまる番号全てに○をつけてください。

1　人の踏み付けによる登山道や散策路の荒廃
2　登山道や散策路の整備
3　登山者の増加に伴う登山道の混雑
4　駐車場の混雑や観光道路の渋滞
5　観光客による観光拠点（温泉や展望台、ビジターセンター等）の混雑、渋滞
6　野営地の利用に伴う裸地化
7　トイレのない野営場、登山道のし尿問題
8　ゴミの放置、散乱
9　植物の違法採取
10　外来生物の侵入
11　エゾシカによる植生被害
12　ヒグマによる人への危害
13　公園内の規制やルールの管理不足
14　標識・地図の不備・破損
15　施設（トイレ、山小屋等）の不足または老朽化
16　建築物の廃屋の増加
17　開発行為（観光道路、ダムの建設、鉱業採掘等）
18　新型コロナ感染症の拡大
19　地球温暖化による気候変動
20　その他（　　）

問４　あなたは、大雪山国立公園における、自然の保護や施設の維持管理は、適切に行われていると思いますか。それぞれ当てはまる番号１つに○をつけてください。

	適切ではない	あまり適切ではない	どちらともいえない	ほぼ適切である	適切である	わからない
登山道や歩道の維持管理	1	2	3	4	5	6
山小屋や野営地の維持管理	1	2	3	4	5	6
植生復元事業	1	2	3	4	5	6
公園内の巡視（登山道、野営場など）	1	2	3	4	5	6
公園内の清掃	1	2	3	4	5	6
外来生物の除去作業	1	2	3	4	5	6
携帯トイレ利用の推進・普及	1	2	3	4	5	6
公園利用マナーの徹底	1	2	3	4	5	6

問５　あなたは、大雪山国立公園における、利用者のための施設の設置・整備は、適切に行われていると思いますか。それぞれ当てはまる番号１つに○をつけてください。

	適切ではない	あまり適切ではない	どちらともいえない	ほぼ適切である	適切である	わからない
登山道、歩道の整備	1	2	3	4	5	6
山小屋の整備	1	2	3	4	5	6
野営場及び関連施設の整備（広場等）	1	2	3	4	5	6
トイレの整備	1	2	3	4	5	6
登山口の駐車場の整備	1	2	3	4	5	6
ロープウェイやリフトの整備	1	2	3	4	5	6
道路や公共交通機関の整備	1	2	3	4	5	6
温泉街や宿泊施設の整備	1	2	3	4	5	6
標識・案内板の整備	1	2	3	4	5	6
ビジターセンターの整備	1	2	3	4	5	6

問 6　あなたは、大雪山国立公園における、利用者のためのサービスの提供は、適切に行われていると思いますか。それぞれ当てはまる番号１つに○をつけてください。

	適切ではない	あまり適切ではない	どちらともいえない	ほぼ適切である	適切である	わからない
利用者の安全対策（注意喚起、情報提供など）	1	2	3	4	5	6
公園の管理目標に沿った普及啓発の実施（自然解説、パンフレット）	1	2	3	4	5	6
利用者のニーズに対応したツアー・プログラムの提供	1	2	3	4	5	6
外国人観光客の受け入れ環境整備（掲示板、パンフレット、Web 等の多言語化、ビジターセンターの多言語対応）	1	2	3	4	5	6
利用施設の新型コロナ感染症への対応	1	2	3	4	5	6

問 7　あなたは、大雪山国立公園における公園計画や管理計画、ルールに基づく規制や指導は、どのぐらい適切に行われていると思いますか。それぞれ当てはまる番号１つに○をつけてください。

	適切ではない	あまり適切ではない	どちらともいえない	ほぼ適切である	適切である	わからない
公園の保護規制計画による建築物の設置や開発行為	1	2	3	4	5	6
公園の保護規制計画による動植物の捕獲・採取などの行為	1	2	3	4	5	6
車馬・動力船の使用や、航空機の着陸	1	2	3	4	5	6
高原温泉・銀泉台、層雲峡におけるマイカー規制	1	2	3	4	5	6
冬季のスノーモビル乗り入れ	1	2	3	4	5	6
登山道での自転車等の乗入れ	1	2	3	4	5	6
野営場及び野営指定地以外での野営	1	2	3	4	5	6
植生保護のための歩道外への立入り	1	2	3	4	5	6
残雪時の雪渓上でのスキー利用	1	2	3	4	5	6
山岳地帯へのペット類の持ち込み	1	2	3	4	5	6

問８　あなたは、大連協をはじめとした協議会や部会の運営について、どのように思いますか。それぞれ当てはまる番号１つに○をつけてください。

	そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う	わからない
幅広い分野の関係者が参加している	1	2	3	4	5	6
協議会、部会の開催頻度は適切である	1	2	3	4	5	6
会議時間の長さは適切である	1	2	3	4	5	6
会議は発言しやすい雰囲気である	1	2	3	4	5	6
一人当たりの発言時間は十分である	1	2	3	4	5	6
協議会、部会の開催会場へのアクセスが良い	1	2	3	4	5	6
現地にいなくても会議に参加する機会がある（オンライン）	1	2	3	4	5	6
関係者の提案や意見が、各種計画書などに反映されている	1	2	3	4	5	6
関係者の提案や意見が、関係機関や団体などの施策や取り組みに反映されている	1	2	3	4	5	6
協議会で討論された重要な課題について迅速に対応できている	1	2	3	4	5	6
公園での様々な事業に関係者が参加する機会がある	1	2	3	4	5	6
関係者の意見を取り入れる体制が常に確保されている	1	2	3	4	5	6
管理運営状況に関する情報は一般向けにも公開されている（各種計画、調査データ、調査報告書等）	1	2	3	4	5	6
一般公開されている情報は理解しやすい	1	2	3	4	5	6
協働型管理運営を通してビジョン、保護管理目標を達成できる	1	2	3	4	5	6
協働型管理運営は地域振興（生活の質の向上、経済的な発展等）にも役立つ	1	2	3	4	5	6

問９　協議会や部会の運営について、問８の項目の他に、気になる点があれば教えてください。

問１０　あなたの性別を教えてください。当てはまる番号１つに、○をつけてください。

１：男性　　２：女性　　３：その他

問１１　あなたの年齢を教えてください。当てはまる記号１つに、○をつけてください。

ア：２０代　　イ：３０代　　ウ：４０代　　エ：５０代

オ：６０代　　カ：７０代以上

問１２　あなたは、大雪山国立公園で活動している以下の団体に所属していますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

１：国の行政機関　　２：北海道の行政機関　　３：市町村の行政機関　　４：交通事業者

５：観光事業者　　６：観光協会　　７：山岳ガイド　　８：自然公園指導員

９：市民団体　　１０：自然保護団体　　１１： パークボランティア　　１２：山岳会

１３： 研究者　　１４：その他（　　）

問１３　あなたは、大雪山国立公園連絡協議会に所属していますか。

１：所属しています　　２：所属していない

問１４　あなたは、大雪山国立公園にある登山道維持管理部会に所属していますか。

１：所属しています　　２：所属していない

問１５　大雪山国立公園の保護や管理運営について、他に何かご意見がありましたらお書きください。

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

大雪山国立
術の検討、

手順

歩道等維持管理作業実施手順マニュアル

:公園における登山道の適切な管理のため、補修案件について情報の共有（情報公開）、技
事例の蓄積を行い、補修・施工品質の確保・向上を図るもの。

①案件の登録

・計画者から事務局に案件登録

⇒A4で1/2ページ程度の様式を提出、または、電話等でも可（実施場所、課題状況、実施内容、工法の方向性等）

②対象案件の判定

・案件の内容に応じて、次の判定結果をそれぞれ計画者に伝える。

③－１：事前検討案件、

③－２：事後検討案件、

③－３：報告のみの案件

※事務局が、案件に応じて判断する。

※ササ刈りの他、次の施工案件は「③－３報告のみ」とする。

・ぬかるみ解消を目的とした木道の設置（掘削は必要最低限とする）

・腐朽した木道の張替え

・段差を２段以内追加する段差処理

＜今後も要検討＞
考え方としては、誰が行っても同じ結果となり、

※事前検討すべきと考えられるものについて、事務局で検討のうえ、WGメンバーの意見を聞いて決定。

③－１：事前検討案件

・対象：これまでに対応事例のない荒廃や崩落等の案件

・年間案件数：１～２件を想定

■計画者に対して補修に関する作業計画書の作成を依頼（事務局担当職員）

■WGによる計画書の事前検討（事務局担当職員）

＜技術的助言の要請＞
■計画者が施工方法について幅広い意見を得たい場合、作成した作業計画書について、WGメンバーに意見を求めることができることとする。
・受付期間：シーズンオフ（10月～翌年５月）

■必要に応じ計画者が作業計画書を修正

■計画者による作業の施工

■事務局担当職員による作業結果報告書の作成
（請負業務の場合は計画者が業務で作成）

③－２：事後検討案件

・対象：「登山道整備技術指針」に基づき、施工内容の適正や妥当性を判断できる案件

・年間件数：20件程度を想定

■事務局による施工内容への助言

⇒事前に自然環境保全上留意した方がよい点がある場合、不可逆な状況が生じないか等の観点から、案件登録の情報をもとに、

必要な案件に対してコメントを行う

■事務局による施工結果の現場確認

■事務局による記録報告作成（写真・文章＋動画）

（請負業務の場合は計画者が業務で作成）

■事務局が、登山道維持管理部会における検討案件にするかどうかについて専門家の意見も踏まえ検討

③－３：報告のみの案件

対象：登録時に判定された報告のみの案件

■計画者が作業を実施

■計画者が作業実施結果を、事務局に報告する（実施結果を簡潔にまとめた概要＋写真１枚程度）

④－１：登山道維持管理部会での検討

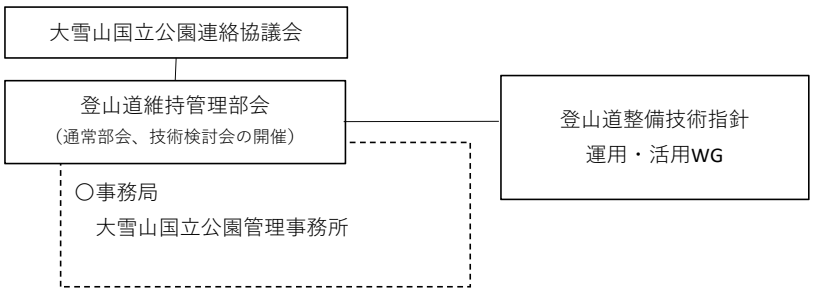
対象：WGメンバー、部会構成員

■事務局が、③－１及び③－２の案件の中から検討対象の重点案件を選定

■計画者（施工者）が、案件の実施結果について報告

■部会参加者で議論し、実施結果に対する改善事項等を整理

■選定した重点案件以外の他の案件についても、改善点及び留意事項等があれば抽出



④－２：作業結果の報告、共有

■事務局担当職員が実施結果を大雪山国立公園連絡協議会ホームページに掲載

■部会構成員等により情報共有

⑤登山道整備技術指針の改訂に向けた知見の蓄積

■各年における実施結果をもとに、技術指針の改定に必要な事項（特に施工の適切性に関する判断基準等）を蓄積

大雪山国立公園　登山道補修記録

資料10-3

路線名	層雲峡勇駒別線
路線番号	3 － 9
区間	姿見園地端部～旭岳登山口

担当者	Asahidake trail keeper・藤
作業日	2020年8月

記録日	2020年8月26日
記録者	大雪山国立公園管理事務所　忠鉢

登山道管理水準

保全対策ランク	B	大雪山グレード	2

目的

洗掘防止を兼ねたステップを施工する。

洗掘により土砂が流され、段差が拡大して歩きにくいため現地の石材と倒木を使用してステップを作る。
浸食がこれ以上広がらないように、みずみちにはプールと石組みを設置する。

浸食原因

流水
- ☑大雨
- ☑雪解け水
- ☐雨水（雨滴）

凍結融解現象等
- ☐凍結融解（霜柱）
- ☐雪圧
- ☐強風

登山者の踏圧等
- ☐登山者
- ☐既存施設

☐その他
（　　）

荒廃タイプ

☐ぬかるみ化
☑水路化
☐ガリー化
☐拡幅、複線化
☐木道等
☐トラバース箇所
☐ヤブ化、倒木
☑根系裸出
☐その他

（　　）

工法分類

☐分散排水工法
☑床止め工法
☐土留め工法
☐マルチング工法
☐路面処理工法
☑段差処理工法
☐植生基盤工法
☐倒木処理
☐刈り払い
☐その他

（　　）

使用材料

石材　現地採取

木材　現地採取(倒木)

位置図

概要写真

＜補修前＞

＜補修後＞

GPS位置

	N43.651572	E 142.82931

様式第１

大雪山国立公園携帯トイレ普及パートナー登録申請書

大雪山国立公園携帯トイレ普及パートナーシップ事業実施規約第３条に基づき、大雪山国立公園における携帯トイレの利用推進に係る取組（以下「取組」という。）の案を以下のとおり作成し、同パートナーシップの登録を申請します。

平成　　年　　月　　日

団体等の住所、名称

代表者氏名　　㊞

大雪山国立公園連絡協議会長　殿

すでに実施している取組の概要	
当年度末までに実施予定がある取組の概要	※２月１日～３月末日までの間に提案を行う場合は、翌年度末までの内容とする。
取組による効果の見込み	※可能な限り定量的に記載。
担当者氏名･連絡先	

「大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ」の販売に関するご案内

大雪山国立公園連絡協議会では、携帯トイレの普及を進めるため、平成 29 年度に「大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ」を作成しました。

平成 30 年度からは、大雪山国立公園携帯トイレ普及パートナー事業者である、株式会社りんゆう観光様に、大雪山地域を代表してメーカーからの仕入れを一括で実施していただいております。

このような体制を構築した理由は、携帯トイレを本格的にさせるためには、携帯トイレが登山装備品と同様に位置づけられること、また、携帯トイレの普及体制の継続性を確保する必要があり、民間の手によって自律的に流通することが重要であると考えるためです。

つきましては、各関係団体・事業者のみなさまにおいて、「大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ」の仕入れ・購入を希望される場合は、下記窓口までご連絡ください。

また、販売いただける可能性のある団体・事業者に周知にご協力いただくとともに、販売の意向を持つ事業者があれば、下記連絡窓口まであわせてご一報をお願いいたします。

大雪山国立公園が抱える山岳地域のし尿問題解決のため、携帯トイレの販売に積極的なご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

大雪山国立公園オリジナル携帯トイレに関する連絡窓口

株式会社りんゆう観光　層雲峡事業所

〒078-1701　北海道上川郡上川町層雲峡

TEL. 01658-5-3031　FAX. 01658-5-3019

※価格（税込み）：１個３６０円（送料別途）　※最小販売単位　：５個

【本状連絡先】大雪山国立公園連絡協議会事務局

環境省大雪山国立公園管理事務所

〒078-1741　北海道上川郡上川町中央町603　TEL：01658-2-2574／FAX：01658-2-2681

環境省東川管理官事務所

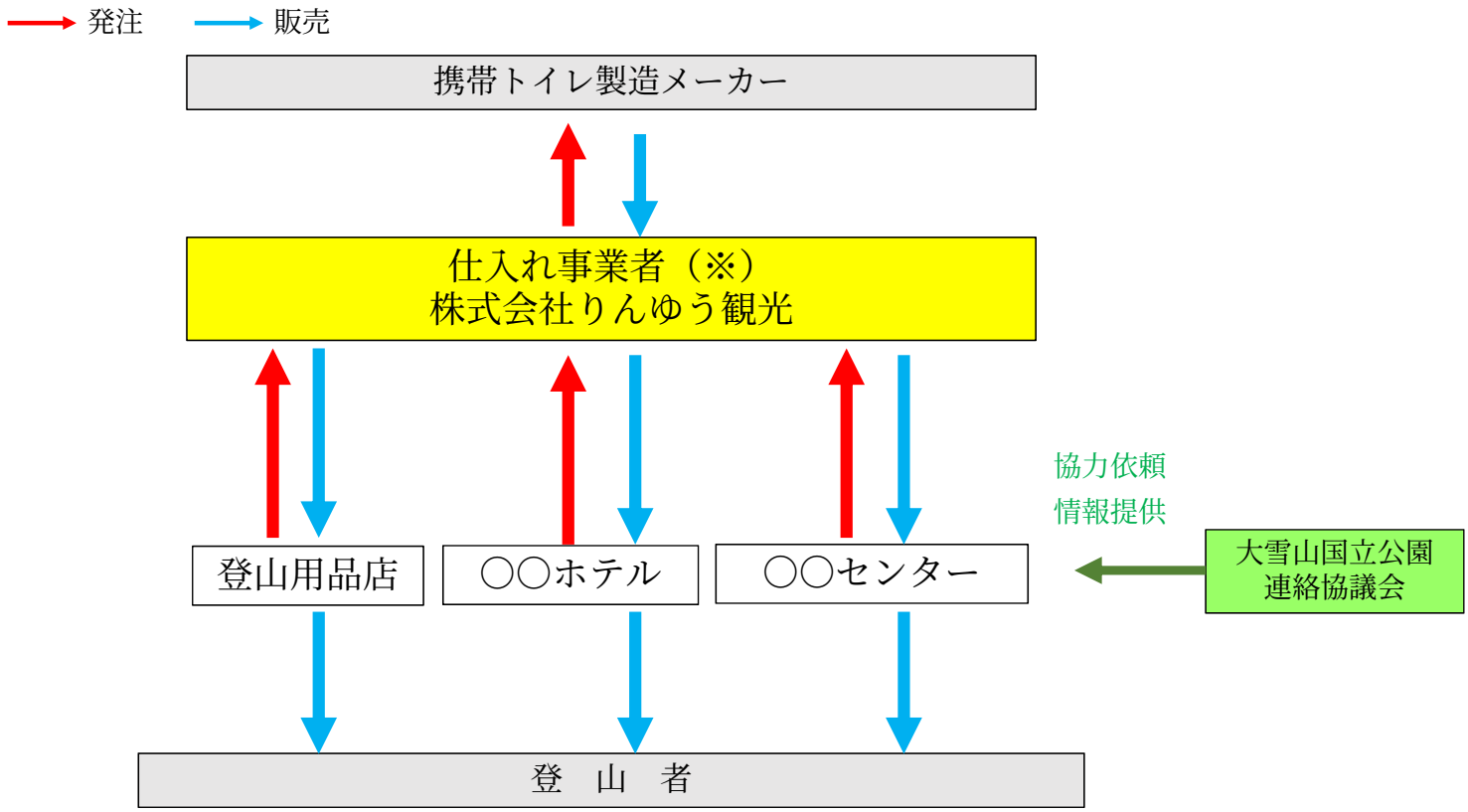
〒071-1423　北海道上川郡東川町東町1-13-15　TEL:0166-82-2527／FAX:0166-82-5086

環境省上士幌管理官事務所

〒080-1408　北海道河東郡上士幌町字上士幌東3線235-33　TEL:01564-2-3337／FAX:01564-2-2933

大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ

大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ販売体制
（平成30年度～）



（※）例えば、知床国立公園では安田商事株式会社様が、
屋久島国立公園では屋久島観光協会様が、仕入れ事業者となっています。

大雪山国立公園におけるトイレの現状

2021年6月17日現在

大雪山国立公園管理事務所

	場所	市町	避難小屋・山小屋	野営場	トイレ	野外し尿の状況	携帯トイレブース	回収ボックス		携帯トイレ販売、その他備考	
山岳地	黒岳	上川	有（管理人有）	有（野営指定地）	有	少	有	—		—	新型コロナウイルス感染症対策として常設トイレのうち2ブースを携帯トイレ専用に変更。
	裏旭	東川	無	有（野営指定地）	無	少	無	—		—	
	白雲岳	上川	有（管理人	有（野営指定地）	有	少	無	—		有	上川総合振興局、上川地区登山道維持管理連絡協議会、山のトイレを考える会で取組。
	大雪高原温泉沼めぐり登山コース エゾ沼、緑沼	上川	無	無	無	少	有	—		—	緑沼はテント式
	忠別岳	上川	有	有（野営指定地）	有	無	無	—		—	
	ヒサゴ沼	新得	有	有（野営指定地）	有	無	無	—		—	
	南沼	新得、美瑛	無	有（野営指定地）	無	多	有	—		—	
	沼ノ原大沼	上川	無	有（野営指定地）	無	未確認	無	—		—	
	ブヨ沼	上士幌、上川	無	有（野営指定地）	無	無	無	—		—	
	小天狗のコル	上士幌	無	有（野営指定地）	無	無	無	—		—	
	ニペソツ山前天狗	上士幌	無	有（暫定的な野営指定地）	無	少	有	—		—	
	双子池	美瑛、新得	無	有（野営指定地）	無	多	無	—		—	
	美瑛富士	美瑛、新得	有	有（野営指定地）	無	多	有	—		—	
	十勝岳避難小屋	美瑛	有	無	無	少	無	—		—	
	上ホロカメットク	上富良野、新得	有	有（野営指定地）	有	少	無	—		—	
	赤岳	上川	無	無	無	少	有※	—		—	※9月中旬のみ、大雪山国立公園連絡協議会携帯トイレ普及キャンペーンとして設置
	中岳温泉	東川	無	無	無	少	有※	—		—	※7月中旬、9月中旬のみ、同上
登山口	層雲峡	上川	無	有	有	無	無	有	設置は環境省、回収は上川町	有	○層雲峡ビジターセンター ○黒岳ロープウェイ売店、7合目売店 ○セイコーマート層雲峡店
	愛山渓温泉	上川	有	無	有	無	無	有	設置・回収は上川町	有	○愛山渓倶楽部
	銀泉台	上川	無	無	有	無	無	無		無	○マイカー規制シャトルバス発着場（9月中旬）
	大雪高原温泉	上川	有	無	有	無	無	有	設置は上川地区登山道維持管理連絡協議会、回収は上川町	有	○大雪高原山荘 ○ヒグマ情報センター ○マイカー規制シャトルバス発着場（9月下
	姿見	東川	有	無	有	無	有	無		有	○旭岳ビジターセンター ○大雪山旭岳ロープウェイ（姿見駅売店） ○セイコーマート東川店
	旭岳温泉	東川	無	有	有	無	無	有	設置は振興局、回収は東川町	有	同上
	天人峡	美瑛	無	無	無	無	無	無		無	○セイコーマート東川店
	クチャンベツ	上川	無	無	有（仮設）	無	無	無			—
	美瑛富士登山口	美瑛	無	無	無	無	無	無		無	—
	白金温泉望岳台歩道登山口（白金観光センター）	美瑛	無	有	有	無	無	有	回収は美瑛町	有	○ホテルパークヒルズ ○湯元白金観光温泉ホテル ○大雪山白金観光ホテル ○白金観光センター
	望岳台	美瑛	無	無	有	無	無	有	設置・回収は美瑛町	無	
	吹上温泉	上富良野	無	有	有	無	無	有	回収は上富良野町	有	○セブンイレブン 上富良野東町店 ○セイコーマート 上富良野宮町店 ○白銀荘
	十勝岳温泉	上富良野	無	無	有	無	無	有	回収は上富良野町	有	○十勝岳温泉凌雲閣
	原始ヶ原登山口	富良野	有	無	有	無	無	無		無	○ふらの観光協会
	シュナイダーコース登山口	上士幌	無	無	有（仮設）	無	無	無		無	
	ユニ石狩岳登山口	上士幌	無	無	無	無	無	無		無	
	トムラウシ温泉コース登山口	新得	無	有	有	無	無	有	設置は北海道、回収は新得町	有	○トムラウシ温泉東大雪荘 ○セイコーマート屈足店 ○セブンイレブン新得町南店
	トムラウシ短縮コース登山口	新得	無	無	有	無	無	有	設置は北海道、回収は新得町	有	同上
	十勝岳新得コース登山口	新得	無	無	無	無	無	無		無	
	ニペソツ山十六の沢コース登山口	上士幌	無	無	有（仮設）	無	無	有	設置は北海道、回収は上士幌町	無	
	ニペソツ山幌加温泉コース登山口	上士幌	無	無	有（仮設）	無	無	有	設置は北海道、回収は上士幌町	無	
	ウペペサンケ山登山口	上士幌	無	無	無	無	無	無		有	○ひがし大雪自然館 ○セイコーマートうえだ上士幌店
	天宝山登山口	上士幌	無	有	有	無	無	無		有	同上
	南ペトウトル山登山口	鹿追	無	無	有	無	無	無		無	
	白雲山然別湖側登山口	鹿追	無	無	有（仮設）	無	無	無		無	
	白雲山士幌側登山口	士幌	無	有	有	無	無	無		無	
	東ヌプカウシヌプリ登山口	鹿追	無	無	無	無	無	無		無	
	西ヌプカウシヌプリ登山口	鹿追	無	無	有	無	無	無		無	

別添○

大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言　目標設定、効果検証について

大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言の内容	宣言を実現するための取組事項（目標設定、効果検証に係るもの）	活動実績（アウトプット） 指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標（単位）	データ取得方法	参考事項	成果実績（アウトカム） 指標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標（単位）	データ取得方法	参考事項
1．携帯トイレを適切に使用することで雄大で原始的な景観と共存する登山を推進します。	○野営指定地等における野外し尿ゼロを目指す										⑦主要箇所における、巡視等１回あたりの野外し尿排出痕跡数 ・美瑛富士、トムラウシ南沼を対象	美瑛富士 トムラウシ	3.7 7.0 痕跡数／巡視回数	痕跡数／巡視回数	痕跡数／巡視回数	痕跡数／巡視回数	痕跡数／巡視回数	痕跡数／巡視回数	元資料：美瑛富士は、美瑛富士携帯トイレブース点検パトロール報告書。トムラウシ南沼は、新得地区登山道等維持管理連絡協議会　山岳トイレ環境対策部会の資料から抽出できる巡視結果。 データ取得方法：美瑛富士は、美瑛富士トイレ管理連絡会ホームページを閲覧し、大雪山国立公園連絡協議会事務局でとりまとめ。トムラウシ南沼は、上士幌管理官事務所でとりまとめ。	・インターネットや会議資料などに掲載される等、根拠、再現性が確保される場合は、対象箇所を追加。
2．登山者に快く携帯トイレを使ってもらえるような環境づくりを行います。	○携帯トイレブースの設置や維持管理	①携帯トイレブースの設置箇所数 ・１年のうちの設置期間を問わず ・固定式、テント式を問わず ・１箇所に複数のブースがある場合でも１と計上	9 箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	元資料：大雪山国立公園連絡協議会事務局（環境省大雪山国立公園管理事務所）作成「大雪山国立公園におけるトイレの現状」 データ取得方法：大雪山国立公園連絡協議会事務局でとりまとめ。	・最大●箇所程度が適切と考えられる。	⑧携帯トイレブース使用回数 ・トムラウシ南沼で実施	美瑛富士 トムラウシ 中岳温泉	203 1500 150 回	回	回	回	回	回	元資料：トムラウシ南沼は、新得地区登山道等維持管理連絡協議会　山岳トイレ環境対策部会の資料。 データ取得方法：ブース内に設置した手動カウンターにより計数。関係者による巡視等の際にカウント数を目視確認、記録。その場で記入できる記録表を鉛筆とセットで内壁に貼り付けておくのもよい。	・カウンターの誤作動を防止する工夫（数をリセットするためのツマミをテープで固定するなど）。
	○携帯トイレの回収体制の構築	②携帯トイレ回収ボックスの設置箇所数 ・回収の実施主体、維持管理体制が整っているものに限る。	12 箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	元資料：大雪山国立公園連絡協議会事務局（環境省大雪山国立公園管理事務所）作成「大雪山国立公園におけるトイレの現状」 データ取得方法：大雪山国立公園連絡協議会事務局でとりまとめ。	・大雪山国立公園の登山口は約30か所	⑦に同じ。									
	○利用者向け情報発信	③大雪山国立公園連絡協議会facebook、登山情報における携帯トイレ関係記事の発信数 ・毎年6月～10月の記事を対象	18 記事	記事	記事	記事	記事	記事	元資料：大雪山国立公園連絡協議会facebook<https://www.facebook.com/daisetsuzan/>、登山情報<http://www.daisetsuzan.or.jp/trail-news/> データ取得方法：大雪山国立公園連絡協議会事務局でとりまとめ。		⑦⑧⑨⑩⑪に同じ。									
3．登山者に対して携帯トイレの利用を推進するための呼びかけを行います。	○携帯トイレの持参の呼びかけ	④携帯トイレ普及キャンペーン実施箇所数 ・大雪山国立公園連絡協議会が実施するものを対象とする。	2 箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	元資料：大雪山国立公園連絡協議会総会に提出される事業報告資料 データ取得方法：事業報告資料の参照	・大雪山国立公園連絡協議会以外の主体が実施するものについては、場所、内容、期間など定量的把握が困難であると考えられることから、⑤の携帯トイレ普及パートナー数を通じて間接的に把握。	⑨登山者の携帯トイレ持参率 ・主要登山口として以下を対象 ○○登山口 ○○登山口 ・入林簿において、有無の回答があった者を対象（母数）とし、「有」を回答した者の割合。		% 参考：持参者○～○人	% 参考：持参者○～○人	% 参考：持参者○～○人	% 参考：持参者○～○人	% 参考：持参者○～○人	% 参考：持参者○～○人	元資料：各登山口における入林簿 データ取得方法：入林簿に、携帯トイレの持参の有無を聞く欄を設ける。入林簿の情報を大雪山国立公園連絡協議会事務局で入手し分析。	【森林管理署、南部森林室と要調整】 ・参考として、回答数をサンプルサイズとし、かつ、大雪山国立公園全体の登山者数を10万人とした場合の、信頼レベル95%における、携帯トイレ持参者数（許容誤差－～許容誤差＋人）を推計し記載。 https://lactivator.net/2019/04/04/sample_size/
	○（常設トイレは適切に使用し、）携帯トイレは常設トイレがない箇所で使用。										⑩下山者数あたりの使用済み携帯トイレ回収数 ・下山者数、回収数の把握が可能な体制が整っているものに限り、現時点ではトムラウシ南沼を対象。	トムラウシ	0.33 個／人	個／人	個／人	個／人	個／人	個／人	元資料：トムラウシ南沼は、新得地区登山道等維持管理連絡協議会　山岳トイレ環境対策部会の資料。 データ取得方法：下山者数については、環境省が設置している登山者カウンターによる下山方向のカウント数。使用済み携帯トイレ回収数は、回収主体がとりまとめ（トムラウシ南沼は、新得町）。	・排尿、排便は生理現象であるため一定であると考えた上で、下山者数あたりの使用済みの携帯トイレ回収数により、登山中の全排尿、排便における携帯トイレの使用状況を把握するという趣旨（ただし、母数（１人当たりの登山中の全排尿、排便は算出困難）） ・使用済み携帯トイレ回収数を把握できている箇所は現状ごくわずかであるが、できるかぎり多くの箇所での把握を目指す。 ・回収数を定量的に、かつ、正確に把握できる箇所が新たにできた場合は対象箇所を追加。
4．携帯トイレの普及に協力してくれる人の輪を広げます。	○携帯トイレ普及パートナーの拡大	⑤携帯トイレ普及パートナー数 ・年度末における登録数	8 パートナー	パートナー	パートナー	パートナー	パートナー	パートナー	元資料：大雪山国立公園連絡協議会資料 データ取得方法：大雪山国立公園連絡協議会事務局でとりまとめ。		⑦⑧⑨⑩⑪に同じ。									
	○携帯トイレ販売箇所数の拡大	⑥大雪山国立公園オリジナル携帯トイレ卸数 ・年度ごとに集計	2525 個	個	個	個	個	個	元資料：（株）りんゆう観光資料 データ取得方法：大雪山国立公園連絡協議会事務局から（株）りんゆう観光層雲峡事業所に照会。		⑪登山用品店等における携帯トイレ販売箇所数 ・大雪山国立公園関係市町及び旭川市、帯広市を対象とする		29 店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	元資料：ヒアリング調査、出口調査結果 データ取得方法：大雪山国立公園連絡協議会事務局で調査を実施。山のトイレを考える会HPからデータ取得 http://www.yamatoilet.jp/i/yamatoilet.htm	

*1　カウンター数の誤差動があったと考えられるような回数があったため

令和３年度　環境省大雪山国立公園管理事務所の取組

資料●－●

令和３年６月
環境省　大雪山国立公園管理事務所
東川・上士幌管理官事務所

大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言の推進

○美瑛富士携帯トイレブースの運用

・美瑛富士携帯トイレブースの維持管理に関する協定書に基づき北海道地方環境事務所、美瑛町、美瑛富士トイレ管理連絡会の３者が協同で維持管理を行う。

○南沼汚名返上プロジェクト

・トムラウシ短縮登山口に携帯トイレ配布ボックスを設置。配布時に協力金の収受を試行予定。
・トムラウシ南沼野営指定地のテント数カウントや、同指定地周辺の野外し尿痕跡調査も継続実施予定。

○大雪高原温泉沼めぐり登山コース内の携帯トイレブースの常設化（ヒグマ監視等業務として実施）

松仙園登山道のぬかるみ対策

＜ポイント＞
○Ｒ２年度より供用開始（7/14～9/30）。昨年の利用者はおよそ1,000人
○植生を最大限保護するため、上り一方通行での利用ルールとしたが、湿原以外の区間で多数のぬかるみの発生を確認
→　対策として、倒木を利用した木道、角材を使用した簡易木道の設置等を行う
（請負業務、大雪山ＰＶ行事としても実施予定）

沼ノ平～姿見の池登山道の整備（予定）

＜ポイント＞
○愛山渓～当麻乗越の区間は、木道資材の劣化、踏圧侵食による土壌流出で荒廃が進んでいる
○過去、ヘリや人力での補修資材の運搬・工事が行われているが、コスト面から整備が追いついていない
○効率的な整備手法の調査、検討のため、Ｒ２年度の冬期間（3月下旬）において、スノーモビルによる補修資材の荷上げ実験を実施（目的：走行ルートの確立、整備手法の可能性を検索）
→　実際に荷上げした補修資材で整備を行うとともに、冬期間はスノーモビルによる荷上げも実施することで、当該手法のより詳細な効果検証を行う

白雲岳避難小屋周辺登山道維持管理協力金

＜ポイント＞
○白雲岳避難小屋周辺登山道の利用者に対し1,000円の協力金をお願いする方針が大雪山国立公園上川地区登山道等維持管理連絡協議会総会で決定。
○この間協力金等検討作業部会では大雪山国立公園ビジョンを踏まえ、大雪山に見合った協力金の取組方針や利用者が国立公園の管理運営に参加する仕組みについて検討され、協力金の意義と使途、目指す目標、利用者に対する情報発信等について協議を行った上、白雲避難小屋管理人と確認のうえ実施に至る。
○協力者にはノベルティの配布と共にアンケートを実施し、そこから得られた知見を分析することで登山道の管理運営に対する大雪山国立公園内の協力金のあり方について分析を行う。

その他の動き

（グリーンワーカー事業）

○清掃活動事業（層雲峡、勇駒別、天人峡、糠平、十勝三股の各集団施設地区等利用拠点の美化清掃）
○高原温泉・銀泉台自動車利用適正化対策業務
○沼ノ平湿原植生復元植生調査業務
○スノーモビル乗入れ対策（普及啓発看板設置、パトロール）（12月～３月予定）
○大雪山国立公園野営指定地現状把握業務（R2年度未実施箇所、三川台）
○大雪山国立公園登山道管理水準、登山道整備技術指針見直しに向けた予備調査（仮）
○大雪山国立公園連絡協議会地域の連携体制強化事業（仮）　←　入れるか要判断
○トムラウシ山登山道泥濘対策検討業務
○ヒサゴ沼野営指定地環境改善検討業務
○大雪山国立公園十勝三股地区植生管理手法検討業務

（国立公園満喫プロジェクト推進事業）

○協力金取組方針作成及びモデル地域における協力金収受検討調査
○メディアを活用した広域情報発信業務

（自然ふれあい）

○パークボランティア活動（登山道維持管理、外来種対策、利用者指導、モニタリング等）
○層雲峡ビジターセンター及びひがし大雪自然館を拠点とする自然観察講座

（野生生物の保護管理）

○然別湖ウチダザリガニ対策事業及び希少水生生物（カラフトグアイ）保全対策業務
○高原温泉ヒグマ情報センターの管理運営

※原生的な自然景観・生態系保全及び安全対策の充実と、体験の質・満足度の向上の両立

その他の動き

（施設整備・維持管理）

○環境省が管理する、松仙園登山道（※）、沼ノ平～姿見の池登山道（※）、
　中岳温泉～間宮岳登山道（※）、沼ノ原木道及びトムラウシ登山道の巡視
　※登山道維持管理データベースを活用した管理・補修
○松仙園地区適正利用推進協議会の開催（１～３月）
○層雲峡活性化・再整備に向けた検討、計画
○多言語解説整備支援事業
○大雪山縦走線歩道実施設計業務
○中岳裾合平線歩道実施設計業務

（登山者カウンターの設置による登山道利用者数調査）

○環境省国立公園HPで公開中　<https://www.env.go.jp/park/daisetsu/data/tozandoriyosya2016.html>

令和2年度大雪山国立公園入山者数の推計結果（登山者カウンター等カウント値結果）

● 対象とする登山口
令和2年度は、下表の登山口を対象とした。位置図は別紙のとおり。なお、現時点では利用者が少なく、登山者カウンターを設置して人数を計測しても、全体数の誤算の範囲に含まれてしまうと考えられる登山口は対象にしていない。

● 結果の概要
①月別の入山者数は、最も多い月が9月、その次が7月であると考えられる。
②入山者が多い上位3登山口は、黒岳登山口、姿見の池（旭岳方面）、十勝岳温泉（安政火口）である。
なお、熱感知式カウンターの精度検証の結果から入山者数の実数はカウント値よりも一定程度少ないと考える必要がある。令和2年度6月～10月期の大雪山国立公園の年間のカウント数を単純に合計した値について、これまでに実施した精度検証の結果から、仮に誤差が約110%～148%と仮定すると、大雪山国立公園全体の入山者数は約7～10万人程度の間にあると考えられる。

	登山口	年間	6月	7月	8月	9月	10月	推計方法	カウンター設置期間
1	黒岳登山口	約22000程度	約100程度	約5400程度	約5600程度	約8700程度	約2300程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年6月23日～10月12日
2	銀泉台登山口（第一花園下）	約7900程度	約200程度	約2800程度	約1300程度	約3600程度	-	熱感知式カウンターからの推計	令和2年6月22日～9月28日
3	高原温泉登山口（緑岳コース）	約3700程度	約200程度	約1400程度	約900程度	約1200程度	約100程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年6月18日～10月7日
4	高原温泉登山口（沼めぐり登山コース）	約3900程度	約100程度	約300程度	約400程度	約2100程度	約900程度	ヒグマ情報センター利用者数資料	
5	クチャンベツ登山口	約320程度	約0～50程度	約1200程度	約1100程度	約700程度	約100程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年7月3日～10月7日
6	松仙園登山口	約1000程度	-	約200程度	約200程度	約600程度	-	人感センサー式カメラからの推計	令和2年7月14日～9月30日
7	愛山渓温泉登山口	約2000程度	約0～50程度	約500程度	約400程度	約1000程度	約100程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年6月26日～10月9日
8	姿見の池（裾合平方面）	約6600程度	約200程度	約2800程度	約900程度	約2300程度	約400程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年6月19日～10月9日
9	姿見の池（旭岳方面）	約21000程度	約500程度	約6300程度	約5800程度	約7700程度	約700程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年6月19日～10月9日
10	奥旭富士登山口	約1200程度	約200程度	約300程度	約400程度	約300程度	約0～50程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年5月29日～10月8日
11	天人峡登山口	約500程度	約0～50程度	約200程度	約100程度	約100程度	約40～60程度	人感センサー式カメラからの推計	令和2年6月19日～10月9日
12	十勝岳登山口（美瑛岳方面）	約2000程度	約200程度	約500程度	約400程度	約900程度	約0～50程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年5月29日～10月8日
13	十勝岳登山口（十勝岳方面）	約8500程度	約1200程度	約2400程度	約2600程度	約2100程度	約200程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年5月29日～10月8日
14	十勝岳温泉（安政火口）	約12000程度	約1100程度	約5200程度	約2900程度	約2800程度	約400程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年5月29日～10月8日
15	原始ヶ原登山口	約200程度	-	約100程度	約50～100程度	-	-	人感センサー式カメラからの推計	令和2年5月29日～10月8日
16	十勝岳新得側登山口	約100程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	約0～50程度	約50～100程度	国有林入林簿からの推計	
17	トムラウシ山（短縮コース）登山口	約2300程度	約0～50程度	約700程度	約900程度	約600程度	約50～100程度	赤外線式カウンターからの推計	令和2年5月28日～10月12日
18	トムラウシ山（温泉コース）登山口	約100程度	約0～50程度	約0～50程度	約40～60程度	約0～50程度	約0～50程度	赤外線式カウンターからの推計	令和2年5月28日～10月12日
19	石狩岳登山口	約200程度	約0～50程度	約200程度	約40～60程度	約0～50程度	-	赤外線式カウンターからの推計	令和2年5月29日～10月18日
20	ユニ石狩登山口	約50～100程度	約0～50程度	-	-	約40～60程度	約0～50程度	国有林入林簿からの推計	
21	ニペソツ山（楽加温泉コース）登山口	約1100程度	約50～100程度	約400程度	約300程度	約300程度	約50～100程度	熱感知式カウンターからの推計	令和2年5月29日～10月14日
22	白雲山士幌側登山口	約700程度	約100程度	約100程度	約100程度	約100程度	約200程度	国有林入林簿からの推計	
23	白雲山鹿追側登山口	約2800程度	約300程度	約500程度	約900程度	約600程度	約800程度	国有林入林簿からの推計	
24	東ヌプカウンスプリ登山口	約1900程度	約200程度	約300程度	約400程度	約400程度	約500程度	国有林入林簿からの推計	
25	南ペトウトル山登山口	約300程度	約40～60程度	約0～50程度	約40～60程度	約50～100程度	約50～100程度	国有林入林簿からの推計	

機密性〇情報　　〇〇限り

②新型コロナウイルスへの対応を含む各団体の今年度の活動予定について

上川中部森林管理署

- 各パトロール事務所の受付窓口に消毒液を設置（感染防止のため）
- 高原温泉・黒岳パトロール事務所の受付窓口にビニールの仕切りを付ける（感染防止のため）
- 黒岳パトルール事務所の受付前床面に、立ち位置表示を付ける（ソーシャルディスタンス確保のため）

- 6月14日から10月15日までの間でGSS（グリーンサポートスタッフ）を雇用し、登山道の巡視、登山のマナー等啓発・指導、高山植物盗掘・踏み荒らし等の把握、同防止に係るロープ等の設置、軽微な登山道の修繕等を行う

大雪山国立公園における令和３年度主な活動予定

北海道上川総合振興局環境生活課

■ 黒岳トイレの供用・維持管理

１ 供用開始: 6 月 21 日（月）

２ 供用形態: 昨年同様常設トイレ 2 ブース　携帯トイレ使用ブース 2 ブース
常設トイレ使用にかかる協力金額 500 円
※くみ取り作業等供用期間中の維持管理は委託により実施予定
（清掃作業は石室管理人に依頼）

３ 供用終了 ：9 月 30 日（木）　　10 月 1 日～6 日までの間に閉鎖作業実施

■ R3 地域政策推進事業

□ 誘導標識（表示板）の改修

１　目　　的 : 老朽化により文字が読めず、英語表記も無い誘導標識について、試行的に表示面の改修を実施し、登山環境の改善を図る。

２　対　　象 : 表大雪　お鉢平周辺の 10 箇所程度

３　実施内容 : 別途説明（※合同会社　北海道山岳整備に実施委託）

□ 登山道保全技術セミナー

１　目　　的 : 広大な大雪山において登山道の荒廃が各地で顕在化している中、行政機関だけでなく様々な関係者やボランティアによる協働型管理の推進が求められていることから、山岳関係者や一般登山者を対象とした登山道保全技術セミナーを実施し、登山道荒廃のメカニズムを理解したうえで、適切な登山道補修整備に従事できる人材を増やすことを目指す。

２　開催方法 : 委託により実施予定

３　対　　象 : 一般登山者、山岳会・関係行政機関等の山岳関係者

４　内　　容 : 新型コロナウイルス感染状況に応じて内容については今後検討

■ 高山植物保護対策事業

高山植物盗掘防止パトロール【実施予定】

実施日	実施場所	参加者（予定）	備　　考
7 月 3 日(土)	銀泉台、赤岳～小泉岳	関係機関	

■ その他

- 姿見園地改修工事 : 第１展望台改修、ベンチ類、侵入防止柵等　現場作業 8 月～9 月
- 上ホロカメットク山避難小屋再整備に向けた実施設計（委託予定期間 8 月～3 月）
- 愛山渓イズミノ沢登山道における関係者による現地検討会
- 高原温泉沼めぐり歩道 : 高原温泉地区利用者指導業務
- 道有トイレ（ 銀河流星ノ滝、吹上温泉 ）: 維持管理作業（供用開始・終了、浄化槽保守点検、補修等）
※層雲峡野営場、天人峡園地の公衆トイレは閉鎖中
- 避難小屋（忠別岳南・ヒサゴ沼・上ホロ）: 利用実態の把握に努める

＜令和３年度活動予定＞

NPO アース・ウィンド

■新型コロナウイルス対策を含む 2020 年度活動報告
黒岳赤岳 4 か所の温暖化データ収集実績　1.5 日に 1 回調査成果があった。
1Af56 枚、１Bf58 枚、１Cf74 枚、1Df42 枚、計 230 枚

■新型コロナウイルスへの対応を含む 2021 年度活動予定
マスク、体温チェックなどをしながら SD 保つよう調査を続行する。

NPO 法人かむい　年間スケジュール

☆黒岳・赤岳・緑岳及び松仙園巡視活動 6 月から 10 月
（上川地区登山道等維持管理協議会より委託）

☆赤岳コマクサ平にテント型携帯トイレを海の日前後計 10 日間設置し登山者モニタリング植生調査及び測量をおこない次年度以降に向けて携帯トイレブース設置を目指す
（NPO 法人かむい独自事業）

☆愛山渓松仙園ぬかるみ対策
（環境省請負）

☆黒岳石室バイオトイレメンテナンス業務
（振興局委託）

☆黒岳石室補修作業
（上川町委託）

☆赤岳登山道整備（主に第二花園・第四花園）
（NPO 法人かむい独自事業）

☆大雪山全域の笹刈り・倒木処理
※関係機関と各法令について事前調整し必要な手続きを行った上で、可能な場所から実施
※大雪山グレードの非適用路線及び現在通行止めになっている路線などは、実施の可否について関係機関と事前調整を行う

- 南ペトウトル山　　5 日間計 16 人工で 6 月 1 日に終了
- 西ヌプカウシヌプリ　　2 日間計 4 人工で調査及び下部の倒木処理終了
  上部は今後検討
- 俵真布から三川台　　（森林管理署に上俵真布林道の通行を許可して頂きたい）
- 忠別直登シビナイコース（森林管理署に忠別林道の通行を許可して頂きたい）
- 沼の原から沼の原山
- 天人峡から旭岳温泉
- 白雲山登山口から天望山（白雲山と天望山のコルルート）
- 東ヌプカウシヌプリ（昨年に引き続き残り倒木処理と上部笹刈り）

（NPO 法人かむい独自事業）

☆ハイマツ処理
　各所許可待ち

資料

令和３年度パークボランティア連絡会活動年間計画

日　程	場　所	行　　事	内容等
4 月 13 日(火)	東川ＲＨ	○４月役員会	
5 月 10 日(月)	士幌町	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
5 月 14 日(金)	上川町	○運営協議会総会	総会
5 月 15 日(土)	東川町	○５月役員会　○総会	総会
5 月下旬	層雲峡温泉	●自然公園クリーンデー	清掃活動
6 月 1 日(火)	東川ＲＨ	○６月役員会	
6 月 9 日(水)	紅葉谷	●外来種防除活動（ルピナス等）	防除活動
6 月初旬	旭岳温泉、天人峡温泉	●自然公園クリーンデー	清掃活動
6 月 13 日(日) 6 月 19 日(土)(仮)	十勝岳周辺 旭岳山頂～間宮岳	◎登山道整備	ロープ設置、清掃等
6 月 20 日(日)	赤岳、緑岳、富良野岳	◎高山蝶重点パトロール	密猟防止パトロール
6 月 23 日(水)、25 日(金)	十勝岳周辺 旭岳山頂～間宮岳	●登山道整備補完日（予定）	ロープ設置、清掃等
6 月 27 日(日)	赤岳	●高山蝶パトロール週間 ※高山蝶の増減傾向把握のためのモニタリングも含む	密猟防止パトロール
7 月 4 日（日）	赤岳	●高山蝶パトロール週間 ※高山蝶の増減傾向把握のためのモニタリングも含む	密猟防止パトロール
7 月 13 日(火)～16 日(金)	然別湖	●ウチダザリガニ防除	防除活動
7 月 6 日(火)	姿見の池周辺	●外来種防除活動（セイヨウタンポポ等）	防除活動
7 月 6 日(火)	東川ＲＨ	○７月役員会	
7 月上旬	松仙園	●登山道整備	ぬかるみ対策、ロープ張り
7 月 11 日（日）	美瑛富士	◎携帯トイレブース保守点検	点検パトロール
7 月 28 日(水)	姿見の池周辺	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
7 月 31 日(土)	原始ヶ原	●植生復元モニタリング	モニタリング
8 月 1 日(日)	大雪山全域	◎自然公園クリーンデー 白金温泉・十勝岳温泉	清掃活動
8 月 3 日(火)	東川ＲＨ	○８月役員会	
8 月 3 日(火)、19 日(木)、24 日(火)	姿見の池周辺	●セイヨウオオマルハナバチ防除月間	防除活動
8 月 5 日(木)	富良野岳	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
8 月 5 日(木)、20 日(金)	赤岳	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
8 月 6 日(金)、19 日(木)	緑岳第二花畑	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
8 月 18 日(水)	十勝三股	●植生復元活動	生育調査
8 月未定	沼ノ平	●湿原植生復元モニタリング	モニタリング
9 月 1 日(水)	愛山渓	●登山道整備	登山道ササ刈り
9 月 4 日(土)	黒石平	●オオハンゴンソウ防除	防除活動
9 月 7 日(火)	東川ＲＨ	○９月役員会	
9 月 7 日(火)～10 日(金)	然別湖	●ウチダザリガニ防除	防除活動
9 月中旬～下旬（マイカー規制期	赤岳銀泉台	●マイカー規制対応 ※期間中 7～8 日間程度	利用者指導活動、受付補助

間確定次第)			
9 月中旬～下旬(マイカー規制期間確定次第)	高原温泉沼巡りコース	●ヒグマパトロール対応 ※期間中 7～8 日程度	自然解説活動、 受付補助
9 月 25 日(土)、26 日(日)	十勝岳周辺 旭岳山頂～間宮岳	◎登山道整備	ﾛｰﾌﾟ緩め、清掃
10 月 1 日(金)～2 日(土)	十勝三股	●施設跡地植生復元	植樹及び保護柵設置
10 月 5 日(火)	東川ＲＨ	○10 月役員会	
1 月 15 日(土)	旭川市内	○１月役員会	
2 月 5 日(土)～6 日(日)	上川管内予定	○冬期研修会	研修会
1 月～3 月中旬(2 回程度)	旭川市ペーパン地区他	●スノーモビル等乗入れ規制合同パトロール、重点パトロール	
年間		●事務所行事への協力(観察会・フォーラム・協働型維持管理支援など) ●層雲峡 VC における来館者への自然解説等 ○一般活動	

関係会議への出席、協働型維持管理支援

日　程	場　所	行　　事	内容等
時期未定	未定	○協力金等検討作業部会	会議
時期未定	未定	○大雪山フォーラム	フォーラム
5 月未定	然別湖	◇【協働型】然別自然休養林外輪山登山道整備	登山道ササ刈り
5 月未定	上川町	○層雲峡地区自然ふれあい利用協議会定期総会	会議
7 月未定	上川町	○高原温泉・銀泉台地区自動車利用適正化対策連絡協議会幹事会	会議
6 月未定	帯広市内	○東大雪登山道維持管理部会	会議
6 月未定	旭川市内	○表大雪登山道維持管理部会	会議
11 月未定	上川町	○高原温泉・銀泉台地区自動車利用適正化対策連絡協議会幹事会	会議
12 月未定	旭川市周辺	○表大雪登山道維持管理部会	会議
12 月未定	帯広市周辺	○東大雪登山道維持管理部会	会議
12 月未定	旭川市周辺	○スノーモビル等の乗り入れ規制調整会議	会議
2 月未定	上川町	○松仙園地区適正利用推進協議会	会議
3 月未定	札幌市	○山のトイレフォーラム	フォーラム

○活動基盤整備・関係会議への出席・一般活動、◎パークボランティア連絡会行事、●事務所行事
◇協働型維持管理支援活動

〈大雪山国立公園連絡協議会　表大雪地域登山道維持管理部会（第２回）提出資料〉

２０２１年度 山のトイレを考える会の活動予定

新型コロナウィルス感染に注意をして下記の活動を実施する予定です。

１．美瑛富士避難小屋携帯トイレブース点検パトロール活動

この活動は、環境省・美瑛町・美瑛富士トイレ管理連絡会の３者による協定に基づく。

美瑛富士トイレ管理連絡会の事務局業務と点検パトロール１回の活動を予定。

【美瑛富士トイレ管理連絡会の活動予定】

・７月１１日（日）：大雪山国立公園パークボランティア連絡会
・７月１８日（日）：札幌山岳連盟
・７月２５日（日）：日本山岳会北海道支部
・８月　１日（日）：北海道山岳連盟
・８月　８日（日）：山のトイレを考える会
・８月２９日（日）：道央地区勤労者山岳連盟
・９月１２日（日）：道北地区勤労者山岳連盟
・９月２６日（日）：北海道山岳ガイド協会

２．大雪山裏旭野営指定地への携帯トイレブース設置に向けたアンケート調査活動

裏旭にテント泊し、宿泊登山者、通過登山者に対してアンケート調査を実施する予定。

・期間：７月上旬～９月中旬の間で宿泊登山者が多いと予想される日
・参加団体：道内の賛同する山岳関係関連団体、１０団体が参加を予定
・現在、所轄行政に対して許可申請の手続き中

３．山のトイレマップ（２０２１年版）の作成と配布

２０１９年、２０２０年に引き続き、今年度も登山者に山のトイレ情報を知ってもらい、し尿汚染を少しでも減少させるためにトイレマップを配布する。

昨年同様、宿泊施設、ビジターセンター、森林管理署、ロープウェイ事業者ほか山岳関係者等のご協力を得て配備させていただく。

大雪山国立公園関係では１５箇所、それ以外は５箇所、北海道全体で２０箇所に６月下旬から順次送付する予定。

以　上

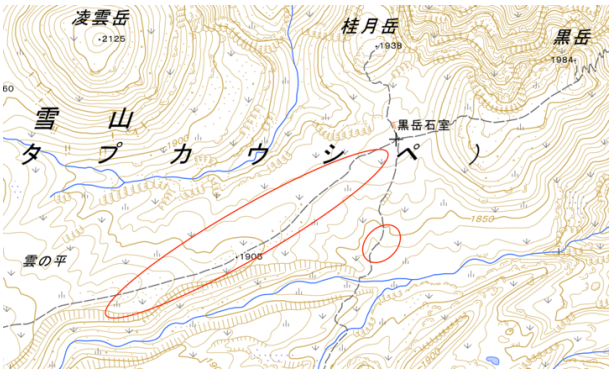
2021（R3）年度　表大雪山地域登山道関連調査予定
北海道大学大学院地球環境科学研究院・環境科学院

1. 登山道荒廃に関する調査

【調査予定地】

（1）黒岳石室―赤石川間および雲ノ平間における過去の補修区間

（2）北海岳を起点とする北海平周辺の登山道侵食が集中する区間



【目的】

（1）補修後の変化の把握，特に植生の侵入や登山道の安定化に注目

（2）長期モニタリングの一環

【調査期間】

8 月下旬～9 月中旬頃の閑散期（平日）に 4 日間程度，
合計 2 回程度

【調査者】

渡辺悌二（教授），小林勇介（博士課程大学院生），
王　婷（博士課程大学院生），常　亮（博士研究員）

【方法】

高所撮影が可能な一脚棒にカメラをつけて写真を撮影
（右図参照）

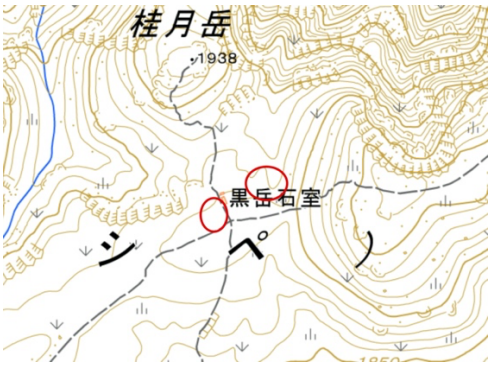
登山道上での GPS 測量。作業者 1 ～3 名を予定

高所撮影が可能な棒を用いた撮影のイメージ図

2. 黒岳野営指定地の地表面形態調査

【調査予定地】

黒岳野営指定地（旧サイトを含む）



【目的】
黒岳野営指定地の侵食の進行状況の把握（野営指定地の土壌侵食・侵食速度をモニタリングするためのデータとして蓄積）
【調査期間】
6月下旬～9月下旬に2～4日間，合計2回程度，平日早朝など登山者が少ない時間帯に実施。特に旧サイトでのドローンによる空撮は9月の平日に行う。
【調査者】
渡辺悌二（教授），王　婷（博士課程大学院生），小林勇介（博士課程大学院生），常　亮（博士研究員）
【方法】
(1)　昨年に引き続き，高所撮影が可能な一脚棒を用いたデジカメによる写真撮影測量
(2)　ドローンによる写真撮影

3. 登山道付近の地滑りに関する調査

【調査予定地】
三段山周辺および天人峡羽衣の滝周辺

【目的】
三段山周辺および天人峡羽衣の滝周辺で発生した登山道付近の地滑りの規模を定量的に把握
【調査期間】
6月下旬～9月下旬に2～4日間，合計2回程度，現地調査は登山者・観光客が少ない時間帯に実施
【調査者】
渡辺悌二（教授），小林勇介（博士課程大学院生），王　婷（博士課程大学院生），楊 伍鈺（修士課程大学院生），山田紗佑里（修士課程大学院生），常　亮（博士研究員）
【方法】
(1) ドローンによる写真撮影ならびにGPS（GNSS)測量により地滑り発生斜面の地表形態を測量
(2) 各関係機関に聞き取り調査を実施

4. 黒岳野営指定地のオンライン・アンケート調査ならびに野営指定地の荒廃状況の写真撮影方法に関する体験講習会の実施

【調査内容】
(1) 大雪山国立公園の野営指定地の将来の管理等に関するアンケート調査をオンラインで実施

(2) 昨年度から実施している北大の「地方学（じかたがく）プロジェクト」の一環として，黒岳野営指定地の現場あるいはオンラインで写真撮影方法に関する体験講習会を実施（環境省および上川町に共同実施を依頼予定）

【調査期間】

6 月下旬～12 月下旬

【調査者】

渡辺悌二（教授），王　婷（博士課程大学院生）

2021 年　大雪山国立公園における調査計画

北海道大学大学院農学研究院
花卉・緑地計画学研究室
准教授　愛甲哲也

1．保護地域管理有効性評価の関係者調査（修士２年　閻安）

5 月 14 日開催の大連協総会で承認された協議会および部会の構成員・関係者に対する，管理有効性に関する意識調査を６―7 月にかけて実施する。調査依頼は、大連協事務局より発信予定。郵送での回答意向は大連協事務所に連絡をお願いします。

Web でのご回答　　https://arcg.is/enGGv

2．裾合平，雲の平のマット施工の効果検証（修士１年　陳絵）

2019 年から行っているマット施工が行われた場所の植生の回復状況の調査を実施する。裾合平は 6 月中旬から 9 月中旬まで 2 週間ごと，雲の平・南沼は 7 月下旬に，現地での測量，植生調査，土壌水分等の計測を行う。裾合平では秋にチングルマの種子の採取を行い，実験室での発芽／生育状況の観察を行う。いずれも，環境省，北海道森林管理局，文化庁の許可済み。

3．COVID-19 による登山者の動態変化の比較（修士２年　八尋聡，修士１年　中村大）

2020 年のカウンターデータ, 携帯電話位置情報のビッグデータを用いて, 主要登山口, 宿泊地の登山者数を過年度と比較し，傾向の変化を分析する。昨年と同様に，過年度のカウンターデータを用いて, 2021 年の曜日の配列を考慮した主要登山口の混雑予想カレンダーの作成も行う。

4．リピートフォトグラフィーによる写真撮影，写真比較分析

過去の写真と同じ場所から写真を撮影して，景観の変化を比較する。昨年の層雲峡，天人峡温泉，姿見，旭岳温泉に加えて，登山道や十勝，東大雪での写真の収集，撮影を実施する。

昨年の調査結果は、下記をご覧ください。

http://lab.agr.hokudai.ac.jp/hsla/aikoh/site/cocoen/index.html

2021 年大雪山混雑予想カレンダー

分析主体：北海道大学　八尋聡・中村大・愛甲哲也

このカレンダーは、大雪山登山を予定されるみなさまに、混雑が予想される日を避け、安全で快適な登山をお楽しみ頂くことを目的に作成したものです。山域ごとに異なる状況が想定されるため、来訪予定の登山口の混雑予想を確認し、登山計画を立てる際の参考にお使いください。

予想に使用したデータ

- 環境省大雪山国立公園管理事務所よりご提供頂いた、7 つの登山口おける 2017 年～2019 年の登山者数カウンターのデータをもとに作成した。
  ※　2020 年のデータについては、感染症拡大の影響もあり他の年と大きく異なるデータが記録されていたため、分析の対象から除いた。

対象登山口

姿見（旭岳方面）、姿見（裾合平方面）、黒岳、トムラウシ短縮、銀泉台（第一花園下）、
望岳台（十勝岳方面）、望岳台（美瑛岳方面）

混雑の基準について

- 分析対象とした 3 年間合計 300 日のカウンター計測値について、多い順に並べた際の上から 1/8、1/4、3/8 の数値をそれぞれ「非常に混雑」、「混雑」、「やや混雑」の基準値とした。

予想方法

- 2021 年 6 月最終土曜日から 10 月の第一日曜日を予想の対象とした。
- 過去の同一週同一曜日のカウンター計測値（2017 年～2019 年の 3 年間）について、3 つの計測数の中央値が混雑の各基準値を超えている場合、その基準を本年の予想とした。
  ※　姿見（旭岳方面）については、2017 年のデータ欠損のため、残りの 2 年間の計測値の最大値を基準との比較の対象とした。
- 7 月、9 月の連休など、祝日の並びが過去と異なる場合は、適宜予想する混雑基準の引き上げ、引き下げを行った。

姿見（旭岳方面）　2021 年混雑予想

6月

月	火	水	木	金	土	日
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3

非常に混雑（1日の入山者が470人以上）
混雑（1日の入山者が370人以上）
やや混雑（1日の入山者が250人以上）

- 土日祝日とお盆、およびその前後が特に混雑しやすいと予想される

姿見（裾合平方面）　2021 年混雑予想

6月

月	火	水	木	金	土	日
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3

非常に混雑（1日の入山者が230人以上）
混雑（1日の入山者が140人以上）
やや混雑（1日の入山者が100人以上）

- 7 月中旬の高山植物の開花時期、9 月中旬の紅葉時期に とくに混雑が発生しやすいと予想される

黒岳　2021 年混雑予想

6月

月	火	水	木	金	土	日
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3

非常に混雑（1日の入山者が480人以上）
混雑（1日の入山者が340人以上）
やや混雑（1日の入山者が270人以上）

- 連休や紅葉時期に混雑が発生しやすいと予想される

トムラウシ短縮　2021 年混雑予想

6月

月	火	水	木	金	土	日
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3

非常に混雑（1日の入山者が50人以上）
混雑（1日の入山者が40人以上）
やや混雑（1日の入山者が30人以上）

- 7 月中の土日祝日に特に混雑が発生しやすいと予想される

銀泉台（第一花園下）　2021 年混雑予想

6月

月	火	水	木	金	土	日
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3

非常に混雑（1日の入山者が250人以上）
混雑（1日の入山者が140人以上）
やや混雑（1日の入山者が90人以上）

- ９月の紅葉時期に特に混雑が発生しやすいと予想される

望岳台（十勝岳方面）　2021 年混雑予想

6月

月	火	水	木	金	土	日
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3

非常に混雑（1日の入山者が190人以上）
混雑（1日の入山者が140人以上）
やや混雑（1日の入山者が110人以上）

- 7 月から 8 月上旬に混雑が発生しやすいと予想される

望岳台（美瑛岳方面）　2021 年混雑予想

6月

月	火	水	木	金	土	日
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3

非常に混雑（1日の入山者が35人以上）
混雑（1日の入山者が20人以上）
やや混雑（1日の入山者が15人以上）

- 土日祝日を中心に混雑が発生しやすと予想される

※重要

令和３年３月 20 日

登山者の皆様へ

上川町
（株）りんゆう観光

令和３年度夏季シーズンに係る黒岳石室（野営指定地）の利用について

平素、黒岳石室及び野営指定地の管理運営にご理解ご協力をいただきありがとうございます。さて、令和３年度の黒岳石室(野営指定地)の夏季シーズンの管理運営体制について、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、下記のとおり運営することといたします。ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

○**定員 80 名のところ 20 組（最大 32 名）まで制限し開放**いたします。なお、石室関係者（利用者やスタッフ等）で新型コロナウィルス陽性者等が出た場合や今後の感染状況により、施設の開放を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

○例年より定員を制限しての開放になります。**週末や混雑予想日はご利用を控えて**いただきますよう**強くお願い**いたします。石室は避難小屋としての性質が強いため、事前申し込み制などで利用の制限ができないことをご理解ください。

○おおむね２ｍごとにビニールシートで区画をしていますので、１人もしくは同居の方 2 名でご利用いただきます。広く皆様にご利用いただきたいため、なるべく**８名以上のグループでのご利用はお控えください**。

○石室内部では**マスクの着用を徹底**し、**大声での会話はお控えください**。また**飲食は屋外で**お願いします。**入室の前には必ず手指のアルコール消毒を実施**してください。

○石室の寝室棚についてはアルミマットを敷き、利用の毎アルコールで消毒します。

○極力換気がいきわたるように努力しますが、窓がない施設ですので十分な換気ができないことをご理解ください。また換気により室内温度が下がる場合があります。ご了承ください。

○毛布の貸出、および寝袋のレンタルは実施していません。ご自身でご用意ください。

○アルコール類の提供は行っていません。

●**黒岳野営指定地**については 1 人用テント換算で 35 張程度の幕営が可能ですが、例年**特定の日に混雑**し、野営指定地をはみ出しての幕営を余儀なくされる状況にあります。密な状況を避ける目的と、指定地以外での幕営が自然環境に与える影響を考慮し、**週末や混雑予想日についてはご利用を控えて**いただきますようお願いいたします。

※施設維持協力金（トイレ利用協力金は含みません。携帯トイレの利用を推奨します。）
黒岳石室　一人 2,000 円（小学生以下 1,000 円）
野営指定地　一人 500 円（小学生以下 500 円）

お問い合わせ先
（株）りんゆう観光 層雲峡事業所　TEL　01658-5-3031

黒岳石室混雑予想日カレンダー

2021 6 June

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 閉鎖中	2 閉鎖中	3 閉鎖中	4 閉鎖中	5 閉鎖中
6 閉鎖中	7 閉鎖中	8 閉鎖中	9 閉鎖中	10 閉鎖中	11 閉鎖中	12 閉鎖中
13 閉鎖中	14 閉鎖中	15 閉鎖中	16 閉鎖中	17 閉鎖中	18 閉鎖中	19 開放開始日
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3

2021 7 July

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	3 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。
4 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	5	6	7	8	9 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	10 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。
11 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	12	13	14	15	16 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	17 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。
18 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	19	20	21 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	22 海の日 大混雑日 ご利用はお控えください！	23 スポーツの日 大混雑日 ご利用はお控えください！	24 大混雑日 ご利用はお控えください！
25 大混雑日 ご利用はお控えください！	26 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	27 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	28 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	29 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	30 大混雑日 ご利用はお控えください！	31 大混雑日 ご利用はお控えください！

2021 8 August

日	月	火	水	木	金	土
1 大混雑日 ご利用はお控えください！	2 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	3 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	4 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	5 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	6 大混雑日 ご利用はお控えください！	7 大混雑日 ご利用はお控えください！
8 山の日 大混雑日 ご利用はお控えください！	9 振替休日 大混雑日 ご利用はお控えください！	10 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	11 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	12 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	13 大混雑日 ご利用はお控えください！	14 大混雑日 ご利用はお控えください！
15 大混雑日 ご利用はお控えください！	16	17	18	19	20 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	21 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。
22 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

2021 9 September

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	11 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。
12 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	13 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	14 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	15 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	16 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	17 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	18 混雑日 可能な限りご利用はお控えください。
19 開放最終日	20 敬老の日 閉鎖中	21 閉鎖中	22 閉鎖中	23 秋分の日 閉鎖中	24 閉鎖中	25 閉鎖中
26 閉鎖中	27 閉鎖中	28 閉鎖中	29 閉鎖中	30 閉鎖中	1	2

○今シーズン黒岳石室は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、**定員80名→20組（最大32名）まで制限して開放**いたします。

○定員を制限しての開放になります。**週末や混雑予想日はご利用を控えて**いただきますよう**強くお願い**いたします。

○広く皆様にご利用いただきたいため、なるべく**8名以上のグループでのご利用はお控えください**。

大混雑日 ご利用はお控えください！	：例年30～50名前後の利用がある日です。定員を超える可能性が高いので、ご利用はお控えください。
混雑日 可能な限りご利用はお控えください。	：例年20～30名前後の利用がある日です。天候要因等により定員を超える可能性がありますので、可能な限りご利用はお控えください。

※上記混雑予想に関わらず、天候などの要因により定員を超える場合も想定されます。混雑が予想されていない日にご利用いただく、野営指定地をご利用いただくなど、混雑緩和にご協力をお願いいたします。

公益社団法人　日本山岳会北海道支部　2021 年度活動予定（自然保護関連）

①大雪山国立公園高山植物盗掘防止パトロール（道庁の委託事業）

〇6 月～10 月上旬

〇監視員に登録した支部の会員、会友 4 1 名が腕章を着用して随時パトロール実施

〇目標は 1 名 3 日以上のべ 100 日以上のパトロール

②美瑛富士避難小屋携帯トイレブースの清掃・点検活動

〇トイレ管理連絡会持ち回りの活動で当支部は 7 月 25 日（日）が実施日

〇7 月 24 日（土）～25 日（日）1 泊 2 日　支部メンバー4～5 名で実施予定

③裏旭野営指定地でのアンケート活動

〇裏旭野営指定携帯トイレ検討連絡会が実施する携帯トイレに関する一般登山者へのアンケート調査。

〇当支部は 7 月中の土日に活動予定で現在、他の団体との日程を調整中。

（文責　支部長　藤木俊三）

＜令和３年度活動予定＞

美瑛山岳会

- 6/20 予定の「第６４回十勝岳山開き」はコロナ禍により昨年に引き続き中止。

- 前十勝分岐～十勝岳頂上間の保護ロープ、十勝岳避難小屋上部旧前十勝コース立入規制ロープ、　雲ノ平分岐登山者カウンター誘導ロープは、6/12までに設置、９月末に撤収予定。

- 十勝岳連峰の各登山道（美瑛町内)、避難小屋のパトロール。